

目次

はじめに

ボタンの働き

各モードの概要

充電する

- ソーラー充電
- 充電器による充電
- 充電時間の目安
- 充電量を確認する
- 節電(パワーセービング機能)

スマートフォンとペアリングする

病院内、飛行機内で使うとき

スマートフォンと接続する

- 時計とスマートフォンを接続する
- 時計とスマートフォンの接続を解除する
- 時計の各種機能を設定する
- スマートフォンを探す(携帯電話探索機能)
- ペアリングを解除する
- スマートフォンを買い替えたとき

時刻合わせ

GPS 電波で時刻を合わせる

- 概要
- 受信に適した場所
- 手動で位置情報を取得する
- 手動で時刻情報を受信する
- 自動で時刻情報を受信する
- うるう秒の受信について
- 受信のご注意
- 海外での利用について

スマートフォンに接続して時刻を合わせる

時刻合わせの履歴を確認する

GPS ナビゲーション

ナビゲーションを使う

- ナビゲーションを始める
- 縮尺を変える
- 目的地までの距離を確認する
- スタート地点に戻る(バックトラック)
- ナビゲーションを終了する
- ゴール地点を消去する

現在地を登録する

登録した地点を確認する

登録した地点をゴール地点に設定する

ナビゲーションの使用履歴を編集する

GPS 電波の受信間隔を設定する

方位計測

方位を計測する

目的地の方位を記録する(ベアリングメモリー)

記録した方位を消去する

方位を補正する

北方位を真北に設定する(磁気偏角補正)

磁北と真北

方位計測のご注意

高度計測

現在地の高度を確認する

基準点を設定して高度差を計測する

高度計測値を補正する

自動計測の間隔を設定する

画面の表示を切り替える

高度計測のご注意

気圧/温度計測

気圧と温度を確認する

気圧の急激な変化を知らせる

気圧の計測値を補正する

温度の計測値を補正する

画面の表示を切り替える

気圧、温度計測のご注意

日の出/日の入り時刻

日の出/日の入り時刻を調べる

日にちを指定して日の出/日の入り時刻を調べる

潮の干満/月齢

現在の潮の干満と月齢を確認する

日にちを指定して潮の干満と月齢を調べる

満潮時刻を補正する

月を見る場所を設定する

ストップウォッチ

計測する

スプリットを計測する

タイマー

時間を設定する

タイマーを使う

ワールドタイム

ワールドタイム都市を設定する

サマータイムを設定する

ライト

手動で点灯させる

自動的に点灯させる

オートライト機能を設定する

点灯時間を変える

その他の設定

ホーム都市とサマータイムを設定する

手動で時刻を合わせる

時刻モードの表示方法を変更する

- 画面の表示を変更する
- 12 時間制/24 時間制を切り替える

アラームを使う

ボタンの操作音を設定する

補足

都市一覧

サマータイム期間一覧

対応するスマートフォン

仕様一覧

モバイルリンク機能に関する注意事項

無線に関するご注意

商標、登録商標について

困ったときは

はじめに

時計の概要と、スマートフォンとの接続設定について説明します。スマートフォンと接続することによって、時計の時刻をネットワーク上の正確な時刻に合わせたり、時計の設定を変更したりできます。

重要

- 専門的な計測器ではありません。計測機能は、目安としてお使いください。
- 高度計は、計測した気圧を高度に換算した値を表示します(相対高度計)。そのため標高や海拔高度とは異なる値を表示することがあります。こまめに補正しながら計測することをおすすめします。
 - 🔗 高度計測
- 方位計を本格的な登山などでご使用になるときは、必ず予備のコンパス(方位磁針)を携帯してください。予備のコンパスと比較して計測した方位が異なる場合は、正しい方位を計測するため、3点補正をしてください。
 - 永久磁石(磁気アクセサリなど)、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品(テレビ、パソコン、携帯電話など)の近くのような、強い磁力がある場所では正しく計測や補正ができません。
 - 🔗 方位計測
- この時計には、スマートフォンと接続しなければ使用できない機能があります。また、スマートフォンの位置情報の設定をオンにしてお使いください。位置情報がオフになっていると、時計が緯度と経度の情報を取得できないため、正しい情報が表示されない場合があります。
- GPS ナビゲーションでログを取得しているときは、その他のモードの計測間隔がずれることがあります。

参考

- 本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

ボタンの働き



ロータリースイッチ

A ボタン

押すと、各モードの設定画面が開きます。

B ボタン

押すと、ライトが点灯します。

C ボタン

押すと、モード選択画面が開きます。約 1 秒間押し続けると、時刻モードに戻ります。

また、設定画面を開いているときに C ボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

D ボタン

時刻モードのときに押すと、自動時刻合わせ選択画面が開きます。

ロータリースイッチ

各モードを表示中に押すと、ナビゲーション画面が開きます。

各モードの設定画面を表示中に押すと、選んだ設定や変更を決定します。

各設定画面を表示中に回すと、メニュー項目をスクロールできます。

各モードの概要

この時計には、以下のモードがあります。

● 各モードの概要

GPS ナビゲーションモード

通ったルートを記録したり、目的地への方向を示したりします。また、現在地を時計に登録することもできます。

🔗 GPS ナビゲーション



時刻モード

現在の日時を表示します。また、ホーム都市やアラームなどの時計の基本的な機能の設定を変更できます。



通信モード

スマートフォンと接続します。時計の設定を変更したり、時計が取得したデータをスマートフォンに転送したりできます。

🔗 スマートフォンと接続する



方位計測モード

方位や角度を計測します。

🔗 方位計測



高度計測モード

現在地の高度を計測します。

☉ 高度計測



気圧/温度計測モード

現在地の気圧と温度を計測します。

☉ 気圧/温度計測



日の出/日の入りモード

ホーム都市(タイムゾーン)の日の出と日の入りの時刻を表示します。

☉ 日の出/日の入り時刻



タイド/ムーンモード

カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」で設定した場所の潮の干満と月齢を表示します。

☉ 潮の干満/月齢



ストップウォッチモード

経過時間を計測します。

☉ ストップウォッチ



タイマーモード

タイマーを計測します。

☉ タイマー



ワールドタイムモード

世界 39 都市と UTC(協定世界時)の時刻を表示します。

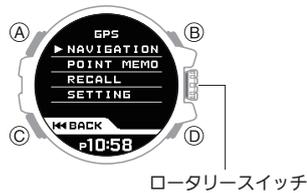
☉ ワールドタイム



●モードを切り替える

GPS ナビゲーションモードに切り替える

どのモードのときでも、ロータリースイッチを押すことで GPS ナビゲーションモードの設定画面が開きます。



どのモードのときでも、ロータリースイッチを約 1 秒間押し続けると、ナビゲーション画面が開きます。



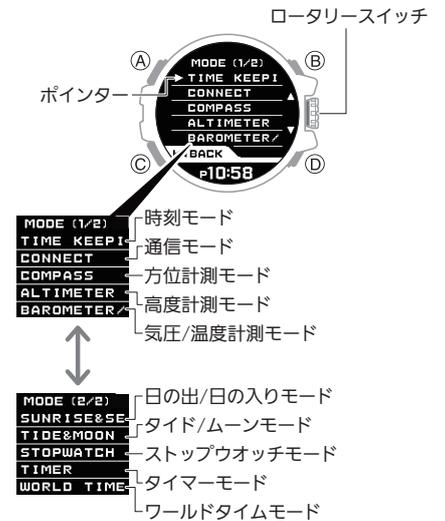
GPS ナビゲーションモード以外のモードに切り替える

GPS ナビゲーションモード以外は、以下の手順でモードを切り替えます。

1. C ボタンを約 1 秒間押し続けて、時刻モードにします。



2. C ボタンを押します。
3. ロータリースイッチを回して、使いたいモードにポインターを合わせます。



4. ロータリースイッチを押します。
選んだモードが開きます。

参考

- どのモードのときでも、C ボタンを約 1 秒間押し続けると、時刻モードに戻ります。
- 通信モードへは、時刻モードのときに C ボタンを約 2.5 秒間押し続けることによって切り替えることもできます。
- 各モードの操作の途中で、以下の画面が出たときは、その時点で設定中の操作から抜けて、操作を終了することができます。



- ① C ボタンを押します。
- ② ロータリースイッチを回して現在の設定を保存するかどうかを選びます。
[YES]: 現在の設定を保存する
[NO]: 現在の設定を保存しない
- ③ ロータリースイッチを押します。

充電する

ソーラー充電

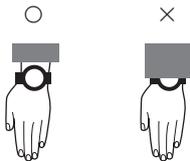
ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは液晶画面と一体になっており、液晶画面に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、液晶画面(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。液晶画面(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。



重要

- 充電時に、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯などの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

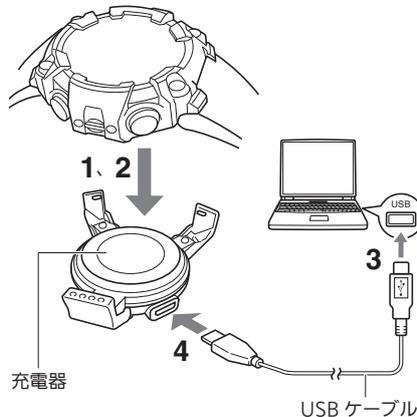
充電器による充電

充電器で充電すると、ソーラー充電と比較して、時計を短時間で充電できます。

重要

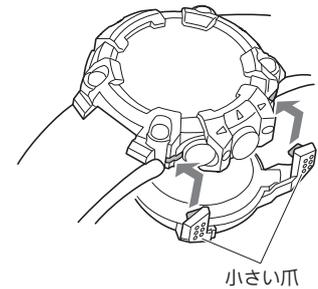
- 充電器と USB ケーブルは必ず付属品をお使いください。
- USB 端子 (Type-A) のある機器で充電できます。
- すべての USB 端子で動作を保証するものではありません。充電できないときは USB の接続を解除することをおすすめします。
- 机の上など安定した場所で、周りに物が無い状態で充電してください。かばんの中などの狭い場所で充電すると、時計や充電器が発熱する場合があります。
- 充電中に水など液体がかかった場合は、ただちに USB ケーブルを電源から抜いてください。
- 充電器は防水構造ではありません。水気のあるところや、湿度の高いところでの使用は避けてください。
- 周囲の温度が 5°C~35°C の環境で充電してください。

●充電する



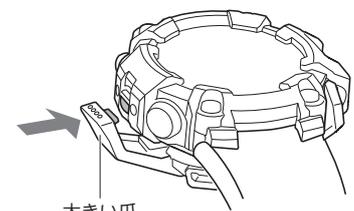
充電する際は、必ず、上記イラストの数字の順に接続してください。

1. 時計の右側(ロータリースイッチ側)を充電器の小さい爪に合わせます。



小さい爪

2. 時計の左側を充電器の大きな爪にはめま



大きい爪

- 充電器の爪が時計にきちんと挟まり、密着していることを確認してください。
- 充電器と時計の間に隙間があると、充電されない場合があります。また、隙間に異物が入り、時計や充電器が発熱する場合があります。

3. パソコンなど USB 端子のある機器の電源を入れ、USB ケーブルを接続します。

4. 充電器と USB ケーブルを接続します。充電器が時計から外れないよう、時計と充電器を押さえて USB 端子を差し込んでください。

- 充電が始まり、 が点灯します。
- 満充電になると、 が消灯します。



●充電時のご注意

- 充電器で充電中は、GPS 電波を受信(時刻合わせ、ログ取得、ポイントメモリーなど)できません。
- 充電器から時計を取り外してから約1分間、GPS 機能を使用できないことがあります。またその間、充電器の取り付け、取り外しを時計が認識できないことがあります。
- 外気温が 35°C 以上の高温状態では充電しないでください。充電によって時計の温度が上昇して、充電が停止します。また、外気温が高温の状態では満充電にならないことがあります。
- 充電器をかばんなどに入れて持ち運ぶときなどは、押しつぶさないように注意してください。変形により爪の部分が開いて時計にセットできなくなる可能性があります。
- 充電が途中で停止した場合は、時計を充電器から外して USB ケーブルを抜き、異常がないことを確認した上で、再度充電してください。
- 時計を充電器に取り付けてから、充電開始までに時間がかかる場合があります。
- 充電中は、時計や充電器が暖かくなる場合がありますが、故障ではありません。

参考

- 表示が消灯した状態から満充電になるまで、約 5 時間かかります。
- 室温など、環境により充電時間が変わります。

| 充電時間の目安

以下の時間を目安に毎日時計を充電すれば、充電量を 以上に保つことができます。

であれば、GPS を使った機能を除き、この時計の機能を使うことができます。

☞ 充電量を確認する

参考

- 実際の充電時間は環境によって異なります。

ソーラー充電の場合

晴れた日の屋外など(50,000ルクス):12分
 晴れた日の窓際など(10,000ルクス):45分
 曇りの日の窓際など(5,000ルクス):72分

参考

- 蛍光灯下の室内(500ルクス)の環境でも充電されます。毎日約8時間蛍光灯下の室内で充電している場合は、追加で1週間の間に2時間晴れた日の窓際(10,000ルクス)で充電すれば、充電量を 以上に保つことができます。

充電器による充電の場合

1分

| 充電量を確認する

時計の充電量は、各モードで確認できます。

充電量	表示	使用可能な機能
高		すべて
少		GPS を使った機能以外
		時刻表示のみ (ボタン操作は不可)

- バッテリー表示が になると、[CHARGE] が表示されます。
- 電池がなくなると、画面の表示が消えます。

重要

- バッテリー表示が 以下になったら、早めに充電してください。電池がなくなった状態で数か月放置すると、電池が過放電の状態になり、充電できなくなることがあります。その場合は、お買い上げ店にご相談ください。

| 節電(パワーセービング機能)

午後 9 時から午前 6 時の間に、時計が時刻モードの状態ですぐ暗い場所に 70 分以上置いておくとレベル 1 の節電状態になります。この状態が 6~7 日続くと、レベル 2 の節電状態になります。時計が節電状態になると、画面の表示が消えます。

節電レベル 1:

以下の機能を使うことができます。

- アラーム
- タイマー
- スマートフォンと接続

節電レベル 2:

すべての機能が停止します。

●節電状態を解除する

以下の方法で、節電状態を解除します。

- いずれかのボタンを押す
- 時計を明るい場所に置く
- 時計を傾けてオートライト機能を動作させる

参考

- 時計が以下のときは、節電状態になりません。
 - 気圧傾向インフォメーションがオンのときなど、各モードでセンサーが計測しているとき
 - 各モードの設定画面を表示しているとき
 - ライトが点灯しているとき
 - バッテリー表示が 以下のとき
- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。

スマートフォンとペアリングする

時計をスマートフォンに接続するには、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」をスマートフォンにインストールして、スマートフォンとペアリングしてください。

●① アプリケーションをインストールする

Google Play または App Store で、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」を検索して、スマートフォンにインストールしてください。

●② Bluetooth を設定する

スマートフォンの Bluetooth 設定をオンにします。

参考

- 設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

●③ ペアリングする

時計とスマートフォンを一緒に使うには、最初にペアリングする必要があります。

1. ペアリング相手のスマートフォンを、時計の近く(1m 以内を推奨)に置きます。
2.  「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
3.  「マイウォッチ」タブの  をタップします。
4.  画面に従って操作して、時計を CASIO WATCHES に登録します。
5.  [G-SHOCK] が表示するまで、C ボタンを約 2.5 秒間押し続けます。
 - スマートフォンと接続すると、画面が以下の表示になります。



参考

- CASIO WATCHES を初めて起動したときに、位置情報の使用を許可するかどうかのメッセージがスマートフォンの画面に表示されます。位置情報をバックグラウンドでも使用できるように設定してください。

病院内、飛行機内で使うとき

病院内や飛行機内など、自動で GPS 電波を受信したり、スマートフォンと接続しては困るような場合、自動時刻合わせを無効にできません(機内モード)。自動時刻合わせを有効に戻すときも同じ操作です。

1. 時刻モードにします。
 モードを切り替える



ロータリースイッチ

2. A ボタンを押します。
時刻モードの設定画面が開きます。
3. ロータリースイッチを回して、[AIRPLANE MODE] にポインターを合わせます。
4. ロータリースイッチを押します。
5. ロータリースイッチを回して、機内モードの設定を選びます。
[ON]: 機内モードになります。
[OFF]: 機内モードを解除します。
6. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
時刻モードの設定画面に戻ります。
7. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。
 - 時計が機内モードのときは、 が表示されます。

スマートフォンと接続する

時計とスマートフォンを接続する

ペアリングが完了している時計とスマートフォンを Bluetooth 接続します。

- ペアリングしていないときは、「③ ペアリングする」に従って、ペアリングを完了してください。

1. スマートフォンを、時計の近く(1m 以内を推奨)に置きます。
2.  ホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
3.  通信モードにします。
 モードを切り替える
 - スマートフォンと接続すると、[CONNECTED] が表示されます。
 - 接続に失敗すると、[CONNECT FAILED] が表示されます。

重要

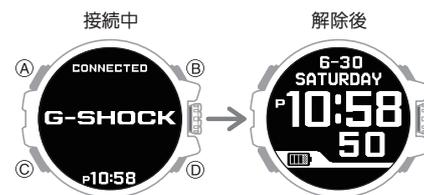
- 時計とスマートフォンを接続できないときは、CASIO WATCHES が終了している可能性があります。スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてアプリを起動してから、時計を通信モードに切り替えてください。

参考

- 接続中に一定時間何も操作しないと、自動で接続は解除されます。接続を維持する時間は、CASIO WATCHES の「時計設定」→「アプリとの接続時間」で、3分、5分、10分から選ぶことができます。

時計とスマートフォンの接続を解除する

いずれかのボタンを押すと、Bluetooth 接続が解除され、時刻モードに戻ります。



時計の各種機能を設定する

時計とスマートフォンを接続すると、CASIO WATCHES を使って時計のさまざまな機能を設定したり、時計が取得した情報を確認したりできます。

1.  「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2.  通信モードにします。
 モードを切り替える
 - スマートフォンと接続すると、[CONNECTED] が表示されます。
 - 接続に失敗すると、[CONNECT FAILED] が表示されます。
3.  設定したい内容を選び、画面に従って操作します。

スマートフォンを探す(携帯電話探索機能)

時計の操作で、スマートフォンの音を鳴らして探すことができます。スマートフォンがマナーモードに設定されていても、強制的に音が鳴ります。

重要

- スマートフォンの音を鳴らすことが禁止されている場所では、この機能を使わないでください。
- 大音量が発生しますので、ヘッドホン使用時にこの機能を使わないでください。

1. 時刻モードにします。

🔊 モードを切り替える



ロータリースイッチ

2. D ボタンを押します。

3. ロータリースイッチを回して、[PHONE FINDER]にポインターを合わせます。

4. ロータリースイッチを押します。

時計とスマートフォンが接続すると、スマートフォンの音が鳴ります。

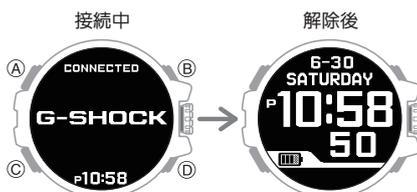
- スマートフォンの音が鳴るまで数秒かかります。

5. B ボタン以外のいずれかのボタンを押して音を止めます。

- 音が鳴り始めてから 30 秒間は、時計のボタン操作で音を止めることができます。

ペアリングを解除する

1. 時計とスマートフォンが接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。



2. ホーム画面で、「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

3. 画面に従って操作して、ペアリングを解除します。

スマートフォンを買い替えたとき

今まで接続したことのないスマートフォンと本機を Bluetooth 接続する場合は、ペアリング操作が必要です。

🔊 ③ ペアリングする

時刻合わせ

この時計は、GPS 電波を受信したり、スマートフォンと接続したりして日付や時刻を合わせることができます。

準備

時刻モードにします。

🔊 モードを切り替える



ロータリースイッチ

重要

- 飛行機内など電波の受信を禁止または制限されている場所では、機内モードに切り替えてください。
- 🔊 病院内、飛行機内で使うとき

GPS 電波で時刻を合わせる

概要

GPS 電波を受信すると、時計の時刻や日付、タイムゾーンを合わせることができます。

- GPS 電波(位置情報): タイムゾーンおよび時刻や日付が合います。
- GPS 電波(時刻情報): 時刻や日付が合います。

重要

- GPS 電波の時刻情報を受信する場合は、事前に GPS から位置情報を取得して、タイムゾーンを設定しておいてください。
- スマートフォンとペアリングをした場合は、GPS 電波を自動で受信しません。ただし、1 日以上スマートフォンと接続しなかった場合は、GPS 電波を自動で受信します。

受信に適した場所

ビルや樹木など視界を遮るものがなく、上空がよく見える屋外で GPS 電波を受信できます。



参考

- 受信しにくいときは、液晶画面を上に向けて動かさないようにしてください。
- 自動的に受信する場合は、衣服の袖が時計の液晶画面にかからないようにご注意ください。
- 以下の場所では、GPS 電波を受信できません。
 - 上空が見えない場所
 - 屋内(窓の近くでは受信できることがあります)
 - 無線通信機器など磁気を発する機器の近く
- 以下の場所では、GPS 電波を受信しにくくなります。
 - 上空の見える範囲が狭い場所
 - 樹木やビルの近く
 - 駅や空港など混雑した場所

手動で位置情報を取得する

ボタン操作で GPS から位置情報を取得して、タイムゾーン、時刻や日付を現在地に合わせます。

参考

- GPS 電波の受信には、多くの電力を消費します。必要なときだけ操作してください。

1. 受信に適した場所に移動して、液晶画面を真上または空の方向に向けます。

2. D ボタンを押します。



ロータリースイッチ

3. ロータリースイッチを回して、[TIME&POSITION]にポインターを合わせます。
4. ロータリースイッチを押します。
位置情報の取得が始まります。
 - 位置情報の取得に成功すると、取得した情報が時計の画面に表示されます。



ロータリースイッチ

- 位置情報の取得に失敗すると、[RECEIVING FAILED]と表示されます。
5. C ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 受信には、約 40 秒から約 80 秒かかります。
 - うるう秒情報を受信する場合は、最大で 13 分かかることがあります。
 - 都市の境界線近くでは適切な位置情報を取得できない場合があります。設定されたタイムゾーンが適切でないときは、時刻と日付が正しく表示されません。設定したい都市の中心に近い場所で改めて位置情報を取得してください。または、手動でホーム都市とサマータイムを設定した後、時刻情報を受信して時刻と日付を合わせてください。
- 🕒 手動で時刻情報を受信する
- 🕒 ホーム都市とサマータイムを設定する

手動で時刻情報を受信する

ボタン操作で GPS 電波の時刻情報を受信します。受信に成功すると、設定したホーム都市(タイムゾーン)に合わせて時刻と日付が表示されます。

参考

- GPS 電波の受信には、多くの電力を消費します。必要なときだけ操作してください。

1. 受信に適した場所へ移動して、液晶画面を真上または空の方向に向けます。
2. D ボタンを約 1.5 秒間押し続けます。
時刻情報の取得が始まります。



- 時刻情報の取得に成功すると、取得した情報が時計の画面に表示されます。



- 時刻情報の取得に失敗すると、[RECEIVING FAILED]と表示されます。
3. C ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 以下の操作で時刻情報を受信することもできます。
- ① D ボタンを押します。
 - ② ロータリースイッチを回して [TIME (GPS)] にポインターを合わせます。
 - ③ ロータリースイッチを押します。
- 受信には、約 10 秒から約 65 秒かかります。
 - うるう秒情報を受信する場合は、最大で 13 分かかることがあります。

自動で時刻情報を受信する

以下の条件を満たすと GPS 電波から時刻情報を自動的に受信します。時刻情報は 1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信しません。

- 時刻モードのとき
- 午前 6 時から午後 10 時の間
- 液晶画面に光(晴れた日の窓辺くらいの明るさ)が約 1 分から約 2 分連続して当たっている

参考

- 時刻情報の受信には約 10 秒から約 65 秒かかります。
- うるう秒情報を受信する場合は、最大で 13 分かかることがあります。

うるう秒の受信について

毎年 6 月 1 日以降と 12 月 1 日以降、GPS 電波ではうるう秒情報を受信します。

参考

- うるう秒情報の受信が完了するには、最大で 13 分かかることがあります。
- うるう秒情報の受信に成功しない場合、成功するまで受信動作を繰り返します。
- うるう秒情報の受信が完了すれば、次の 6 月 1 日または 12 月 1 日までうるう秒情報を受信しません。
- スマートフォンと接続して日時を合わせている場合は、時刻情報と一緒にうるう秒もスマートフォンから受信しています。その場合は、GPS 電波を受信時にうるう秒を受信しないことがあります。

受信のご注意

- GPS 電波の受信による時刻合わせができないときは、平均月差±15秒の精度で動きます。
- GPS 電波を受信して時刻合わせをするときに、時計内部の演算処理などにより若干(1秒未満)のずれが発生します。
- 時計が以下の状態のときは、GPS 電波を受信できません。
 - バッテリー表示が 以下のとき
 - 時刻モード以外のモードのとき
 - 節電状態のとき
 - センサー計測中
 - スマートフォンと接続中
 - ナビゲーションでログを取得中
 - タイマーで計測中
- 受信に成功すると、ホーム都市(タイムゾーン)、サマータイムの設定に従って、自動的に時計の時刻や日付が合います。ただし、以下のような場合は、サマータイムが正しく反映されません。
 - サマータイム開始日時、終了日時の規定が変わった
 - 位置情報は取得できたが、本来の場所の位置情報ではない(例えば、都市の境目で隣の都市の情報を取得してしまったなど)
- 中国は 2017 年 7 月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

海外での利用について

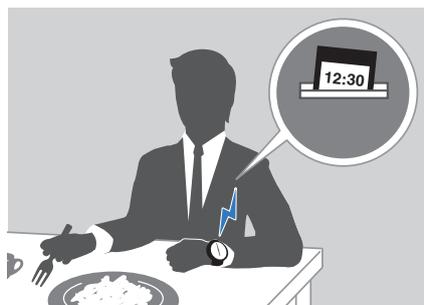
国や地域によっては、GPS の使用や位置情報ログを収集することなどが規制されている場合があります。本機には GPS 機能が内蔵されており、本機を海外(本機を購入した国以外の国や地域)で利用したい場合は、移動先の国や地域に GPS 機能付き製品の持ち込みや、位置情報ログの収集に対する禁止、制限、その他規則などがないか、事前に大使館や旅行代理店などにご確認ください。

スマートフォンに接続して時刻を合わせる

毎日決まった時刻に、時計をネットワーク上の正確な時刻に自動で合わせます。

●使い方

この時計は 1 日に 4 回の時刻合わせがスケジュールされています。(イラストのように) 普段の生活の中で自動的に時刻を合わせるので、そのままお使いになれます。



重要

- 以下のような場合は、自動で時刻を合わせることができないことがあります。
 - タイマーで計測中
 - バッテリー表示が 以下のとき
 - スマートフォンと時計が離れた場所にある
 - 電波干渉などで通信できない
 - スマートフォンのシステム更新を実行している

参考

- CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定している場合、ワールドタイムの時刻も自動で合います。
- 時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。
- 1 日以上スマートフォンとの接続による自動時刻合わせができなかった場合は、GPS 電波を自動で受信します。

●すぐに時刻を合わせたい

時計とスマートフォンを接続すると、時計の時刻がネットワーク上の時刻に合います。今すぐ時刻を合わせたいときは、以下の手順で時計とスマートフォンを接続します。

1. D ボタンを押します。



2. ロータリースイッチを回して、[BLUETOOTH] にポインターを合わせます。
3. ロータリースイッチを押します。

スマートフォンと接続すると、スマートフォンから取得した情報が時計の画面に表示されます。



- 時刻情報の取得に失敗すると、[CONNECT FAILED] と表示されます。

4. C ボタンを押して、設定を終了します。

時刻合わせの履歴を確認する

GPS 電波を受信またはスマートフォンと接続して時刻合わせをした履歴を確認できます。

1. D ボタンを押します。



2. ロータリースイッチを回して、[HISTORY] にポインターを合わせます。
3. ロータリースイッチを押します。
時刻合わせをした日時の一覧が表示されます。
4. ロータリースイッチを回して、詳細を確認したい日時にポインターを合わせます。
5. ロータリースイッチを押します。
時計が取得した情報が表示されます。
6. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

GPSナビゲーション

GPS電波を受信して、通ったルートを記録します。また、ゴール地点を設定すれば、その地点までのルート案内(ナビゲーション)をすることもできます。

準備:

GPSナビゲーションモードにします。

🔄 [モードを切り替える](#)



重要

- ナビゲーション機能では、目的地までの大まかなルートが表示されます。カーナビのような詳細なルートは表示されません。
- ナビゲーションを使用時は、実際の道路や現地の状況に従ってください。
- ナビゲーション機能は、自動車などの乗り物を利用した移動を想定したものではありません。

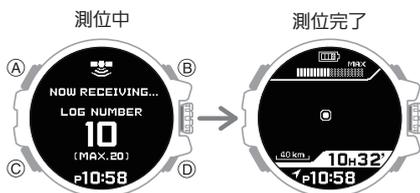
参考

- ポイントメモリー以外の地点をゴールに設定する場合は、CASIO WATCHESをお使いください。
🔄 [現在地を登録する](#)
- GPSナビゲーション機能で取得したルートをスマートフォンに転送して、確認できます。
- GPSナビゲーション機能は、電池残量が🔋以上あるときに使うことができます。

ナビゲーションを使う

ナビゲーションを始める

ロータリースイッチを約1秒間押し続けると、GPS電波での測位が始まります。最初の測位が完了すると、📶が表示されてから、ナビゲーション画面が表示されます。



重要

- ビルや樹木など視界を遮るものがなく、上空がよく見える屋外で使用してください。GPS電波の受信に適した場所については、[以下をご覧ください](#)。
🔄 [受信に適した場所](#)
- 最初の測位が完了してナビゲーション画面が表示されるまで、液晶画面を上に向けて動かさないようにしてください。

参考

- 以下の操作でナビゲーション画面を開くこともできます。
① ロータリースイッチを押します。
GPSナビゲーションモードの設定画面が開きます。
② ロータリースイッチを回して、[NAVIGATION]にポインターを合わせます。
③ ロータリースイッチを押します。
ルートの記録やナビゲーションが始まります。

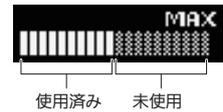


- メモリーの空き容量が足りない場合は、[DATA FULL]と表示されます。ロータリースイッチを押すと、ナビゲーションが始まり、一番古いログが上書きされます。削除するログを選ぶ場合や、すべてのログにプロテクトがかかっている場合は、Cボタンを押してナビゲーションを中止してから、ログを削除してください。
🔄 [ナビゲーションの使用履歴を編集する](#)
- ナビゲーションの途中でメモリーがいっぱいになる、または連続計測可能時間が過ぎると、ナビゲーションが途中で終了して時刻モードに戻ります。

●ナビゲーション画面の見方



① メモリーの使用状況



② 実際に通ったルート

③ 縮尺

④ ログ取得状況

- 📶: ログを取得している
- 📶: ログを取得していない

⑤ ナビゲーション表示

- 📍: 現在地
- 📍: スタート地点
- 📍: ゴール地点*
- ①~⑨: 経由地*

⑥ ゴール地点までのルート*

⑦ 経過時間

* ゴール地点や経由地を設定しない場合は、表示されません。

参考

- 経由地やルートは、CASIO WATCHESでのみ設定できます。
- メモリーの使用状況と経過時間から、あとどれくらいナビゲーション機能を使うことができるか参考にしてお使いください。

縮尺を変える

ナビゲーション画面の縮尺を大きくして詳細なルートを表示したり、スタート地点などの対象地点の方向を示したりできます。

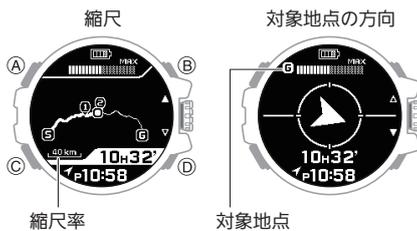
1. ナビゲーション中に、ロータリースイッチを押します。

縮尺を変えることができるようになります。



2. ロータリースイッチを回して、縮尺を変更します。

ロータリースイッチを回すたびに、縮尺が切り替わります。縮尺は3段階あります。さらにロータリースイッチを回すと、対象地点の方向が表示されます。



目的地までの距離を確認する

A ボタンを押すたびに、現在地からスタート地点や、ゴール地点など設定した地点までの直線距離が順番に表示されます。

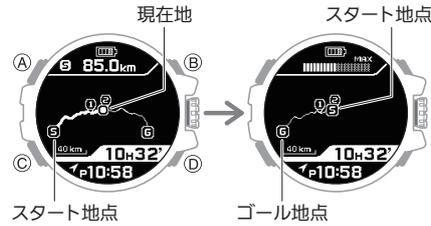


参考

- 目的地までの直線距離が 1,000km 以上の場合は、[-.-.-km] と表示されます。

スタート地点に戻る(バックトラック)

ナビゲーションの途中で、通った道を引き返してスタート地点に戻ることができます。



1. ナビゲーション中に D ボタンを押します。



2. ロータリースイッチを回して、[BACKTRACK] にポインターを合わせます。

3. ロータリースイッチを押します。

再度ロータリースイッチを押す、または 10 秒経過すると、スタート地点をゴール地点としたナビゲーションに変わります。

- 設定をキャンセルする場合は、10 秒以内に C ボタンを押してください。

ナビゲーションを終了する

1. ナビゲーション中に D ボタンを押します。



2. ロータリースイッチを回して、[QUIT] にポインターを合わせます。

3. ロータリースイッチを押します。

再度ロータリースイッチを押す、または 10 秒経過すると、ナビゲーションが終了して時刻モードに戻ります。

- 終了をキャンセルする場合は、10 秒以内に C ボタンを押してください。

ゴール地点を消去する

ゴール地点を消去すると、ルートの記録を継続したまま、ルート案内だけを終了できます。

- ゴール地点の設定については、以下をご覧ください。

🔗 [登録した地点をゴール地点に設定する](#)

1. ナビゲーション中に D ボタンを押します。



2. ロータリースイッチを回して、[RESET GOAL] にポインターを合わせます。

3. ロータリースイッチを押します。

ゴール地点が消去されて、ナビゲーション画面に戻ります。

参考

- バックトラック機能を使ってナビゲーション中は、ゴール地点を消去できません。

🔗 [スタート地点に戻る\(バックトラック\)](#)

現在地を登録する

現在地を登録できます(ポイントメモリー)。ポイントメモリーに登録された場所は、次回ナビゲーションを使うときに、ゴール地点に設定できます。

- この時計では、最大 60 件の地点を登録できます。

1. ナビゲーション中にロータリースイッチを約 1 秒間押し続けます。

現在地が登録されると、現在地の緯度や経度などの情報が表示され、数秒後に [SET ICON?] というメッセージが表示されます。



2. ロータリースイッチを回して、登録した地点にアイコンを設定するかどうかを選びます。

[YES]:アイコンを設定する

[NO]:アイコンを設定しない

3. ロータリースイッチを押します。

- アイコンを設定しない場合は、これで設定は終了です。ナビゲーション画面に戻ります。

4. ロータリースイッチを回して、設定したいアイコンにポインターを合わせます。

- アイコンの設定を止める場合は、以下の操作をしてください。

① C ボタンを押します。

② ロータリースイッチを回して現在の設定を保存するかどうかを選びます。

[YES]:現在選んでいるアイコンで登録する

[NO]:アイコンを設定しない

③ ロータリースイッチを押します。

5. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。

登録した地点にアイコンが設定されます。

参考

- 手順 1 の代わりに、以下の操作で現在地を登録することもできます。

① ナビゲーション中に C ボタンを押します。

② ロータリースイッチを回して [POINT MEMORY] にポインターを合わせます。

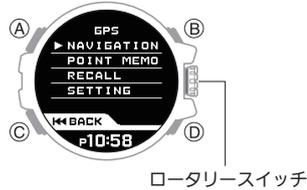
③ ロータリースイッチを押します。

登録した地点を確認する

登録した地点の詳細を表示します。また、地点のアイコンを変更したり地点を消去したりできます。

1. ロータリースイッチを押します。

GPS ナビゲーションモードの設定画面が開きます。



ロータリースイッチ

2. ロータリースイッチを回して、[RECALL] にポインターを合わせます。

3. ロータリースイッチを押します。

4. ロータリースイッチを回して、[POINT] にポインターを合わせます。

5. ロータリースイッチを押します。

地点を登録した日時の一覧が表示されます。



ロータリースイッチ

6. ロータリースイッチを回して、確認したい地点の日時にポインターを合わせます。

7. ロータリースイッチを押します。

選んだ地点の詳細が表示されます。



- 国や地域の法律により、緯度・経度が表示されない場合があります。

[海外での利用について](#)

●登録した地点のアイコンを変更する

1. 地点の詳細を表示中にロータリースイッチを押します。



ロータリースイッチ

2. ロータリースイッチを回して、設定したいアイコンにポインターを合わせます。

3. ロータリースイッチを押します。

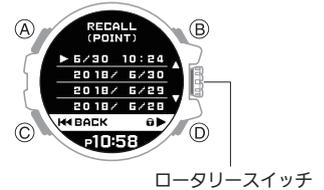
選んだアイコンに変更されます。

4. C ボタンを何回か押して、GPS ナビゲーションモードの設定画面に戻ります。

●登録した地点にプロテクトをかける

登録した地点にプロテクトをかけると、消去できなくなります。

一覧を表示中の場合



ロータリースイッチ

1. ロータリースイッチを回して、プロテクトをかけたい地点の日時にポインターを合わせます。

2. D ボタンを押します。

選んだ地点にプロテクトがかかります。プロテクトがかかった地点には、が表示されます。

- 再度 D ボタンを押すと、プロテクトを解除できます。

3. C ボタンを何回か押して、GPS ナビゲーションモードの設定画面に戻ります。

特定の地点の詳細を表示中の場合



1. D ボタンを押します。

表示中の地点にプロテクトがかかります。

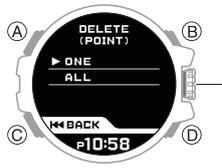
プロテクトがかかった地点には、が表示されます。

- 再度 D ボタンを押すと、プロテクトを解除できます。

2. C ボタンを何回か押して、GPS ナビゲーションモードの設定画面に戻ります。

●登録した地点を消去する

- 登録地点の一覧を表示中、または特定の地点の詳細を表示中に A ボタンを押します。



ロータリースイッチ

- ロータリースイッチを回して、消去方法を選びます。

[ONE]: 現在選んでいる地点のみを消去します。

[ALL]: すべての地点を消去します。

- ロータリースイッチを押します。

地点が消去されます。

- [ALL] を選んだ場合は、再度ロータリースイッチを押してください。押さない場合も 10 秒後に消去されます。

- C ボタンを何回か押して、GPS ナビゲーションモードの設定画面に戻ります。

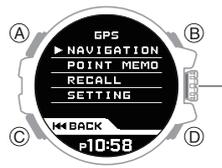
登録した地点をゴール地点に設定する

登録した地点をゴール地点に設定して、ゴール地点までナビゲーションします。すでにゴール地点を設定してルート案内をしている場合は、新しいゴール地点として設定されて、新しいルート案内が始まります。

- ナビゲーション中の場合は、ナビゲーションを終了します。

🕒 **ナビゲーションを終了する**

- ロータリースイッチを押します。



ロータリースイッチ

- ロータリースイッチを回して、[SETTING] にポインターを合わせます。

- ロータリースイッチを押します。

- ロータリースイッチを回して、[GOAL] にポインターを合わせます。

- ロータリースイッチを押します。

- ロータリースイッチを回して、[POINT RECALL] にポインターを合わせます。

- ロータリースイッチを押します。

- ロータリースイッチを回して、ゴール地点に設定したい地点にポインターを合わせます。

- [RESET] を選ぶと、現在設定しているゴール地点を消去できます。

- ロータリースイッチを押します。

- ロータリースイッチを回して、[YES] にポインターを合わせます。

- ロータリースイッチを押します。

ゴール地点が設定されると、[SETTING COMPLETED] と表示されます。数秒後に GPS ナビゲーションモードの設定画面に戻ります。

- ロータリースイッチを回して、[NAVIGATION] にポインターを合わせます。

- ロータリースイッチを押します。

ナビゲーションが始まります。

参考

- CASIO WATCHES を使って、目的地を設定することもできます。

ナビゲーションの使用履歴を編集する

ナビゲーションログ(使用履歴)にプロテクトをかけたり、消去したりできます。

- ナビゲーション中の場合は、ナビゲーションを終了します。

🕒 **ナビゲーションを終了する**

- ロータリースイッチを押します。

GPS ナビゲーションモードの設定画面が開きます。



ロータリースイッチ

- ロータリースイッチを回して、[RECALL] にポインターを合わせます。

- ロータリースイッチを押します。

- ロータリースイッチを回して、[ACTIVITY] にポインターを合わせます。

- ロータリースイッチを押します。

ナビゲーションを使った日時の一覧が表示されます。



●ログにプロテクトをかける

記録したログにプロテクトをかけると、消去できなくなります。



- ロータリースイッチを回して、プロテクトをかけたいログにポインターを合わせます。

- D ボタンを押します。

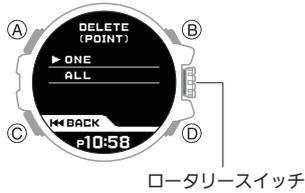
選んだログにプロテクトがかかります。プロテクトがかかった地点には、🔒 が表示されます。

- 再度 D ボタンを押すと、プロテクトを解除できます。

- C ボタンを何回か押して、GPS ナビゲーションモードの設定画面に戻ります。

●ログを消去する

1. A ボタンを押します。



2. ロータリースイッチを回して、消去方法を選びます。

[ONE]: 現在選んでいるログのみを消去します。

[ALL]: すべてのログを消去します。

3. ロータリースイッチを押します。

ログが消去されます。

- [ALL] を選んだ場合は、再度ロータリースイッチを押してください。押さない場合も 10 秒後に消去されます。

4. C ボタンを何回か押して、GPS ナビゲーションモードの設定画面に戻ります。

参考

- 取得したログをスマートフォンに転送すると、通ったルートなどの詳細を確認できます。

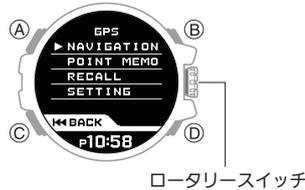
GPS 電波の受信間隔を設定する

ナビゲーション中に GPS 電波を受信して位置情報を取得する間隔を設定します。

1. ナビゲーション中の場合は、ナビゲーションを終了します。

🕒 ナビゲーションを終了する

2. ロータリースイッチを押します。



3. ロータリースイッチを回して、[SETTING] にポインターを合わせます。

4. ロータリースイッチを押します。

5. ロータリースイッチを回して、[INTERVAL] にポインターを合わせます。

6. ロータリースイッチを押します。

7. ロータリースイッチを回して、GPS の受信間隔を選びます。

[NORMAL]: 1 分ごとに位置情報を取得します。

[HIGH RATE]: 数秒ごとに位置情報を取得します。

8. ロータリースイッチを押します。

9. C ボタンを何回か押して、GPS ナビゲーションモードの設定画面に戻ります。

参考

- 受信間隔の設定によって、ナビゲーション機能を使用できる時間が決まります。長時間連続でナビゲーション機能を使いたい場合は [NORMAL] に設定してください。

[NORMAL]: 連続約 24 時間

[HIGH RATE]: 連続 4~5 時間

方位計測

北の方向や目標の方位を調べることができます。

重要

- 正確な計測のために、以下をご覧ください。

🕒 方位を補正する

🕒 方位計測のご注意

準備:

方位計測モードにします。

🕒 モードを切り替える



- 方位計測モードに切り替えると、計測が始まります。

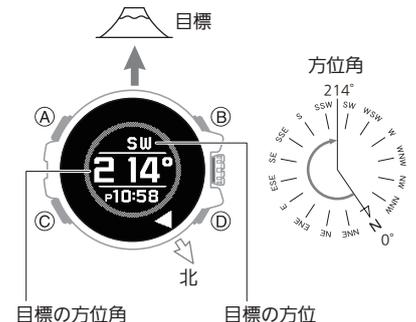
方位を計測する

計測したい目標に時計の 12 時位置を向けると、▲ が北方位を示します。また、画面には目標の方位と方位角が表示されます。

- 計測時に時計が傾いていても、自動で補正して計測結果を表示します(自動水平補正機能)。ただし、時計を地面と垂直近くまで傾けた場合、角度表示がブランクとなり計測できません。

- 再計測するときは、D ボタンを押します。

方位の見方



方位: N(北)、E(東)、W(西)、S(南)

参考

- 計測によって示す北方位は磁北です。北方位を真北に変更することもできます。
- 北方位を真北に設定する(磁気偏角補正)
- 磁北と真北
- 最初の計測結果を表示後、約 1 秒ごとに約 60 秒間計測が続きます。計測を始めてから約 60 秒経過すると、時刻モードに戻ります。
- 方位計測中にアラームなどの音が鳴ったときや B ボタンを押してライトを点灯させたときは、一時的に計測が中止します。アラーム音が止まった後、またはライトが消灯した後に計測が再開します。

● 地図の方向と実際の風景を合わせる(整置)

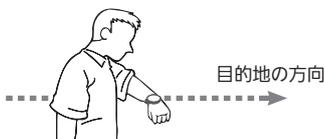
「整置」とは、地図の北方位をコンパス(方位磁針)の北方位に合わせることです。「整置」をすると、地図と地形の関係を把握しやすくなります。この時計を使って「整置」をするには、地図の北方位を、この時計で計測した北方位に合わせてください。「整置」をしたら、地図の方向と周囲の風景を見比べて現在地や目的地をご確認ください。

- 現在地や目的地を確認するには、地図を読むための知識と経験が必要です。

目的地の方位を記録する(ベアリングメモリー)

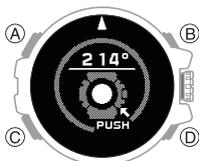
目的地の方向を記録して、それを頼りに進むことができます。

- 時計の 12 時位置を目的地の方向に向けて、水平を保ちます。



- A ボタンを約 1 秒間押し続けます。

目的地の方位角とその方向が表示されます。



- D ボタンを押します。

目的地の方位が記録されます。



参考

- 手順 2 の代わりに、以下の操作で記録を始めることもできます。

 - A ボタンを押して方位計測モードの設定画面を開きます。
 - ロータリースイッチを回して、[BEARING MEMORY] にポインターを合わせます。
 - ロータリースイッチを押します。
 - ロータリースイッチを回して、[SET] にポインターを合わせます。
 - ロータリースイッチを押します。

記録した方位を消去する

記録した方位は、A ボタンを約 1 秒間押し続けると消去できます。

参考

- 記録した方位は、以下の操作で消去することもできます。

 - A ボタンを押します。
 - ロータリースイッチを回して、[BEARING MEMORY] にポインターを合わせます。
 - ロータリースイッチを押します。
 - ロータリースイッチを回して、[RELEASE] にポインターを合わせます。
 - ロータリースイッチを押します。

方位を補正する

正確なコンパス(方位磁針)と比較して計測値がずれている場合や、登山前に、方位を補正してください。

- 強い磁力がある場所では正しく計測や補正ができません。
- 方位計測のご注意

- A ボタンを押します。

方位計測モードの設定画面が開きます。



- ロータリースイッチを回して、[CALIBRATION] にポインターを合わせます。
- ロータリースイッチを押します。

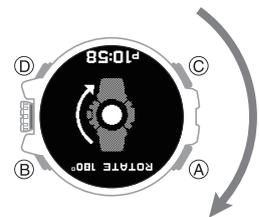


ロータリースイッチ

- 時計を水平に保ちながら D ボタンを押します。

1 点目の補正が始まり、[PLEASE WAIT] が表示されます。補正に成功すると、[ROTATE 180°] と表示されます。

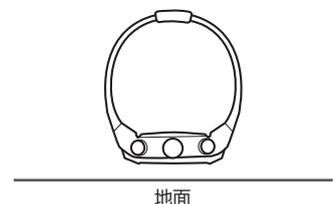
- 時計を上に向けたまま、できるだけ正確に 180 度回転します。



- 時計を水平に保ちながら D ボタンを押します。

2 点目の補正が始まり、[PLEASE WAIT] が表示されます。補正に成功すると、[TURN OVER] と表示されます。

- 時計を地面の方向に向くように裏返します。



- 時計を水平に保ちながら D ボタンを押します。
- 3 点目の補正が始まり、[PLEASE WAIT] が表示されます。補正に成功すると、[SUCCESSFUL] と表示され、数秒後に方位計測画面に戻ります。

参考

- 補正が失敗した場合、[FAILED RETRY?] と表示されます。補正をやり直す場合は、ロータリースイッチを押してください。補正を止める場合は、C ボタンを押してください。

北方位を真北に設定する(磁気偏角補正)

表示される北方位を磁北ではなく真北にする場合は、磁気偏角の方角(東偏または西偏)と角度を設定します。

磁北と真北

- 磁気偏角は 1°(度)単位で、近い方の値を設定してください。
例 [7.4°(度)] の場合: [7°(度)] に設定
例 [7°40' (7 度 40 分)] の場合: [8°(度)] に設定

参考

- 「磁気偏角の方角(東偏または西偏)と角度」は、地形図や登山地図のような等高線が描かれた地図に記載されています。また、国土地理院のホームページなどで調べることができます。

- A ボタンを押します。
方位計測モードの設定画面が開きます。



- ロータリースイッチを回して [MAGNETIC DECLINATION] にポインターを合わせます。
- ロータリースイッチを押します。

- ロータリースイッチを回して、磁気偏角の方角と角度を選びます。
設定範囲: 西偏 90°~東偏 90°
[0° (OFF)]: 磁北
[E]: 磁北が真北よりも東(東偏)
[W]: 磁北が真北よりも西(西偏)
• [0° (OFF)] に戻すには、D ボタンを押します。



- 設定を止める場合は、以下の操作をしてください。

- C ボタンを押します。
- ロータリースイッチを回して現在の設定を保存するかどうかを選びます。
[YES]: 現在の設定を保存する
[NO]: 現在の設定を保存しない
- C ボタンを押すと、再度磁気偏角の方角と角度を設定できるようになります。
- ロータリースイッチを押します。

- ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
方位計測モードの設定画面に戻ります。
- C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

磁北と真北

北を示す地理用語には磁北と真北の 2 種類があります。

磁北: コンパス(方位磁針)が示す北

真北: 北極点の方向

下図のように、磁北と真北は一致していません。



参考

- 一般に市販されている地図の「北」は真北のことです。

方位計測のご注意

使用場所

強い磁力の近くで計測すると、計測値に誤差が発生します。以下の物から離れてご使用ください。

永久磁石(磁気アクセサリなど)、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品(テレビ、パソコン、携帯電話など)

- 室内、特に鉄筋コンクリート構造の建物内では正確な計測はできません。
- 電車、船、飛行機などの乗り物の中では、正確な計測はできません。

保管場所

時計本体が磁気を帯びた場合、方位計測の精度に影響を及ぼす恐れがあります。以下の物の近くには置かないでください。

永久磁石(磁気アクセサリなど)、金属類、家庭電化製品(テレビ、パソコン、携帯電話など)

高度計測

気圧の変化量を計測して、高度を表示します。

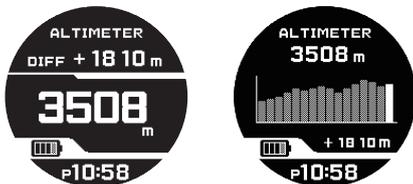
重要

- 時計に内蔵の圧力センサーで計測した気圧の変化量を高度に換算します(相対高度計)。そのため、同じ場所で計測しても、気圧が変化すると表示する値も変化します。また、標高や海拔高度とは異なる値を表示することがあります。登山などで使用する場合は、実際に使用する場所の高度(標高)にこまめに補正してから計測することをおすすめします。
[高度計測値を補正する](#)
- GPS 電波を受信してナビゲーション機能を使っているときは、GPS 電波によって高度計測値が自動で補正されます。ただし、実際の高度値と多少の誤差が生じることがあります。また、GPS 電波による高度測定値の補正は、数分かかります。環境によっては、それ以上に時間がかかる場合があります。標高がわかっている場合は、手動で高度計測値を補正することをおすすめします。なお、高度計測値を手動で補正すると、その後 1 時間は GPS 電波で補正されません。
- 高度補正の値および気圧変化によってはマイナス値が表示されることがあります。
- 標高や海拔高度と計測値の差を少なくするために、以下をご覧ください。
[高度計測のご注意](#)

準備:

高度計測モードにします。

- [モードを切り替える](#)
- [画面の表示を切り替える](#)



- 高度計測モードに切り替えると、計測が始まります。

現在地の高度を確認する

高度計測を開始すると、画面に現在地の高度が表示されます。最初の約 3 分間は 1 秒ごとに、それ以降は設定した間隔で一定時間高度が計測されます(自動計測)。

- 自動計測の間隔を設定する方法は、以下をご覧ください。
[自動計測の間隔を設定する](#)

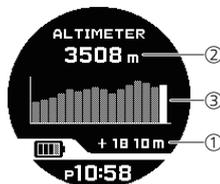
参考

- 再計測する場合は、A ボタンを約 1 秒間押し続けます。
- 計測範囲: -10,000m~10,000m(計測単位: 1m)
 ただし、高度計測値を補正すると、計測範囲は変わります。
- 計測範囲を超えたときは、[---]が表示されます。

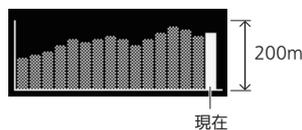
値表示の場合



傾向グラフ表示の場合



- ① 基準点と現在地の高度差
- ② 現在地の高度
- ③ 高度傾向グラフ



基準点を設定して高度差を計測する

基準とする場所と移動後の高度差を表示できます。登山やトレッキングのとき、高度基準点を設定すると、基準点からの高度差を簡単に計測できます。

1. 地図の等高線を使って、現在地と目的地の高度差を調べます。
2. 現在地の高度を計測します。
[現在地の高度を確認する](#)
3. A ボタンを約 1 秒間押し続けて、現在地の高度を基準点に設定します。
 高度差が±0m になります。
4. 地図で調べた高度差と画面に表示されている高度差を比較しながら、目的地に向かって進みます。



現在地の高度

- 地図で調べた高度差と画面に表示されている高度差が、同じになる地点が目的地付近です。

参考

- 手順 3 の代わりに、以下の操作で高低差を±0m にすることもできます。

- ① A ボタンを押します。



ロータリースイッチ

- ② ロータリースイッチを回して、[DIFF RESET] にポインターを合わせます。
 - ③ ロータリースイッチを押します。
 高度差が±0m になります。
- 高度差の計測範囲(±3,000m)を超えたときや計測エラーが発生したときは、[---]が表示されます。

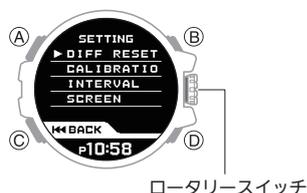
高度計測値を補正する

標高と計測値の差を少なくするため、登山の直前など計測の前に高度を補正することをおすすめします。現在の標高は、標識、地図、インターネットなどを使って調べることができます。登山の途中でも、標高の標識などと照らし合わせてこまめに補正することをおすすめします。

- 標高と計測値の差が発生する原因には、以下のものがあります。
 - 気圧の変化
 - 大気や標高差による温度変化
- 補正しないで計測すると、標高と計測値の差が大きくなる可能性があります。

1. A ボタンを押します。

高度計測モードの設定画面が開きます。



ロータリースイッチ

2. ロータリースイッチを回して、[CALIBRATION] にポインターを合わせます。

3. ロータリースイッチを押します。

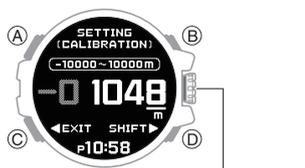
4. ロータリースイッチを回して、[MANUAL] にポインターを合わせます。

- 高度の値を初期設定(工場出荷時)に戻すには、[OFFSET OFF]を選んでください。

5. ロータリースイッチを押します。

6. 以下の操作を繰り返して、現在地の高度を入力します。

- ロータリースイッチを回して、下線が付いている値または符号を変更します。マイナスの値を設定する場合は、マイナス(-)を表示させてください。
- D ボタンを押して、変更する値の位を変更します。



ロータリースイッチ

- 設定を止める場合は、以下の操作をしてください。

① C ボタンを押します。

② ロータリースイッチを回して現在の設定を保存するかどうかを選びます。

[YES]: 現在の設定を保存する

[NO]: 現在の設定を保存しない

③ ロータリースイッチを押します。

7. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。

- 補正が完了して、高度計測モードの設定画面に戻ります。

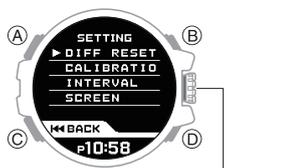
8. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

自動計測の間隔を設定する

自動計測の間隔は、5 秒または 2 分から選ぶことができます。

1. A ボタンを押します。

高度計測モードの設定画面が開きます。



ロータリースイッチ

2. ロータリースイッチを回して [INTERVAL] にポインターを合わせてみます。

3. ロータリースイッチを押します。

4. ロータリースイッチを回して、自動計測の間隔を選びます。

[2 MINUTES]: 1 秒おきに 3 分間計測後、2 分おきに約 12 時間計測

[5 SECONDS]: 1 秒おきに 3 分間計測後、5 秒おきに約 1 時間計測

5. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。

高度計測モードの設定画面に戻ります。

6. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

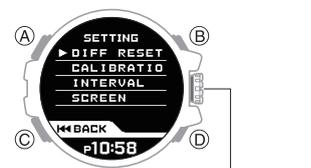
参考

- 高度計測モードで、[5 SECONDS] に設定したときは約 1 時間、[2 MINUTES] に設定したときは約 12 時間何も操作しないと時刻モードに戻ります。

画面の表示を切り替える

高度計測モードにしたときに、高度傾向グラフを表示できます。

1. A ボタンを押します。



ロータリースイッチ

2. ロータリースイッチを回して、[SCREEN] にポインターを合わせます。

3. ロータリースイッチを押します。

4. ロータリースイッチを回して、表示方法を選びます。

[VALUE]: 最新の計測値のみを表示します。

[GRAPH]: 計測値と高度傾向グラフを表示します。

5. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。

高度計測モードの設定画面に戻ります。

6. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

高度計測のご注意

温度の影響について

高度を計測するときは、以下のように、できるだけ時計自体の温度を一定に保ってください。温度変化の影響を受けると多少の誤差が出る場合があります。

- 腕につけたままで計測する
- 温度が安定した場所で計測する

高度計測について

- スカイダイビング、ハンググライダー、パラグライダーをしているとき、またはジャイロコプター、グライダーのように短時間で高度が変化する場合は、使用しないでください。
- この時計で計測した高度を、専門的または産業レベルで利用しないでください。
- 航空機内では、機内の気圧で高度を計測するため、機内でアナウンスされる高度と一致しません。

高度計測のしくみ(相対高度)

この時計では、国際民間航空機関(ICAO)が定めている国際標準大気(ISA)の定義をもとに、「相対高度」を表示します。一般的には、高度が上がると気圧は低くなります。

以下の条件下では、正しい計測ができない場合があります。

- 気象条件により、大気圧に変化が生じたとき
- 気温の変化が大きいき
- 時計が強い衝撃を受けたとき

GPS 電波による高度計測値の補正

GPS 電波を受信してナビゲーション機能を使っているときは、GPS 電波によって高度計測値が自動で補正されます。ただし、実際の高度値と多少の誤差が生じることがあります。また、GPS 電波による高度測定値の補正は、数分かかります。環境によっては、それ以上に時間がかかる場合があります。標高がわかっている場合は、手動で高度計測値を補正することをおすすめします。なお、高度計測値を手動で補正すると、その後 1 時間は GPS 電波で補正されません。

気圧/温度計測

現在地の気圧と温度を確認できます。

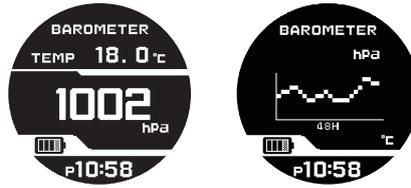
重要

- 正確な計測のために、以下をご覧ください。
🕒 気圧、温度計測のご注意

準備:

気圧/温度計測モードにします。

- 🕒 モードを切り替える
- 🕒 画面の表示を切り替える

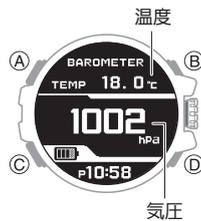


- 気圧/温度計測モードに切り替えると、計測が始まります。

気圧と温度を確認する

気圧/温度計測モードに切り替えると、現在の気圧と温度が表示されます。気圧/温度計測モードに切り替えてから 3 分間は約 5 秒ごとに計測されます。それ以降は、約 2 分ごとに計測されます。

値表示の場合



気圧傾向グラフ表示の場合

2 時間ごとの気圧をグラフで表示します。過去 48 時間分の気圧の変化を確認したり、今後の天気予測に役立ちます。



表示	意味
	グラフが上昇しているときは、気圧が上がり傾向(天気がよくなる)という目安になります。
	グラフが下降しているときは、気圧が下がり傾向(天気が悪くなる)という目安になります。

参考

- 再計測する場合は、D ボタンを押します。
- 気圧/温度計測モードで、約 1 時間何も操作しないと時刻モードに戻ります。
- 計測範囲は以下のとおりです。計測範囲を超えた場合は、[- -]が表示されます。
気圧計測: 260hPa~1,100hPa
温度計測: -10.0°C~60.0°C
- 気圧や高度が大きく変化すると、過去のデータがグラフ表示領域から外れて見えなくなることがあります(見えなくてもデータは存在しています)。

気圧の急激な変化を知らせる

A ボタンを約 1 秒間押し続けるたびに、気圧傾向インフォメーションのオン/オフを切り替えることができます。気圧インフォメーションをオンにすると、注意すべき気圧の変化(急降下、急上昇、低気圧通過、高気圧通過)を時計が検知したときに、音を鳴らしてお知らせします。

- 気圧インフォメーションがオンのときは、[BARO]や以下の表示が現れます。

表示	意味
	気圧が急激に下降した
	気圧が急激に上昇した
	気圧が上昇を続けた後、下降に転じた
	気圧が下降を続けた後、上昇に転じた

重要

- 正しく計測するため、高度に変化がない場所で、気圧傾向インフォメーションをオンにしてください(例:山小屋やテント滞在時、海上)。
- 高度に変化があると、気圧も変化します。そのため、正しい計測ができません。登山などで昇降するときは計測しないください。

参考

- 以下の操作で気圧インフォメーションをオンにすることもできます。
 - ① A ボタンを押します。
 - ② ロータリースイッチを回して、[BARO INFORMATION] にポインターを合わせます。
 - ③ ロータリースイッチを押します。
 - ④ ロータリースイッチを回して、気圧傾向インフォメーションの設定を選びます。
[ENABLE]: 気圧傾向インフォメーションを有効
[DISABLE]: 気圧傾向インフォメーションを無効
 - ⑤ ロータリースイッチを押します。
- 気圧傾向インフォメーションをオンにすると、気圧/温度計測モード以外のモードのときでも2分ごとに気圧を計測します。
- 気圧傾向インフォメーションをオンにしてから24時間経過すると、自動でオフに戻ります。
- 気圧傾向インフォメーションがオンのときは、GPS電波を受信またはスマートフォンと接続して時刻を合わせることができません。また、パワーセービング機能が動きません。
🔋 節電(パワーセービング機能)
- バッテリー表示が🔋以下のときは、気圧傾向インフォメーションは自動的にオフになります。

気圧の計測値を補正する

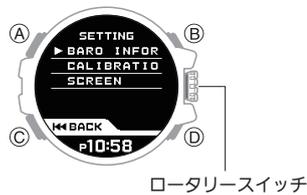
内蔵の圧力センサーは、工場出荷時に調整されているため、通常は補正の必要がありません。ただし、計測値に大きなずれが発生したときは、表示を補正することができます。

重要

- 補正を誤ると正しい計測結果が得られません。正確な気圧計と照らし合わせて正しい数値に補正してください。

1. A ボタンを押します。

気圧/温度計測モードの設定画面が開きます。



2. ロータリースイッチを回して、

[CALIBRATION] にポインターを合わせます。

3. ロータリースイッチを押します。

4. ロータリースイッチを回して、

[BAROMETER] にポインターを合わせます。

5. ロータリースイッチを押します。

6. ロータリースイッチを回して、

[MANUAL] にポインターを合わせます。

- [OFFSET OFF] を選ぶと工場出荷時の値に戻ります。

7. ロータリースイッチを押します。

8. 以下の操作を繰り返して、値を変更します。

- ロータリースイッチを回して、下線が付いている値を変更します。
- D ボタンを押して、変更する値に下線を移動します。



- 設定を止める場合は、以下の操作をしてください。

① C ボタンを押します。

② ロータリースイッチを回して現在の設定を保存するかどうかを選びます。

[YES]: 現在の設定を保存する

[NO]: 現在の設定を保存しない

③ ロータリースイッチを押します。

9. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。

補正が完了して、気圧/温度計測モードの設定画面に戻ります。

10. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

温度の計測値を補正する

内蔵の温度センサーは、工場出荷時に調整されています。通常は補正の必要はありません。ただし、計測値に大きなずれが発生したときは、表示を補正することができます。

重要

- 正確な温度計と照らし合わせて正しい数値に補正してください。
- 時計を腕から外し、時計本体が周囲の温度になじむまで(20~30分)待ってから、補正してください。

1. A ボタンを押します。

気圧/温度計測モードの設定画面が開きます。



2. ロータリースイッチを回して、[CALIBRATION] にポインターを合わせます。
3. ロータリースイッチを押します。
4. ロータリースイッチを回して、[THERMOMETER] にポインターを合わせます。
5. ロータリースイッチを押します。
6. ロータリースイッチを回して、[MANUAL] にポインターを合わせます。
 - [OFFSET OFF] を選ぶと工場出荷時の値に戻ります。
7. ロータリースイッチを押します。
8. 以下の操作を繰り返して、値を変更します。
 - ロータリースイッチを回して、下線が付いている値または符号を変更します。氷点下の気温を設定する場合は、マイナス (-) を表示させてください。
 - D ボタンを押して、変更する値に下線を移動します。



ロータリースイッチ

- 設定を止める場合は、以下の操作をしてください。
- ① C ボタンを押します。
 - ② ロータリースイッチを回して現在の設定を保存するかどうかを選びます。
 - [YES]: 現在の設定を保存する
 - [NO]: 現在の設定を保存しない
 - ③ ロータリースイッチを押します。
9. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。

補正が完了して、気圧/温度計測モードの設定画面に戻ります。
 10. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

画面の表示を切り替える

気圧/温度計測モードにしたときに、気圧傾向グラフを表示できます。

1. A ボタンを押します。

気圧/温度計測モードの設定画面が開きます。



ロータリースイッチ

2. ロータリースイッチを回して、[SCREEN] にポインターを合わせます。
3. ロータリースイッチを押します。
4. ロータリースイッチを回して、表示方法を選びます。
 - [VALUE]: 最新の計測値のみを表示します。
 - [GRAPH]: 計測値と気圧傾向グラフを表示します。
5. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。

気圧/温度計測モードの設定画面に戻ります。
6. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

気圧、温度計測のご注意

● 気圧計測のご注意

- この時計で計測した気圧傾向グラフは、天候を予測する際の目安として使用できます。ただし、公式の天気予報や報道活動では、精密機器として使用しないでください。
- 圧力センサーは、急激な温度の変化に影響を受ける場合があります。その結果、計測した数値に多少の誤差が出る場合があります。

● 温度計測のご注意

温度計測は体温、直射日光、湿気の影響を受けます。正確な温度を計測するためには、腕から時計を外して水分を拭き取り、換気が良く直射日光の当たらない所に置いてください。約 20~30 分で周囲の温度を計測できます。

日の出/日の入り時刻

ホーム都市の日の出と日の入り時刻を確認できます。

準備

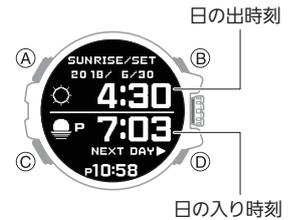
- 日の出/日の入りモードにします。
- ☉ **モードを切り替える**



日の出/日の入り時刻を調べる

日の出/日の入りモードに切り替えると、ホーム都市の今日の日の出と日の入り時刻を表示します。

- D ボタンを押すと、翌日の日の出と日の入り時刻に切り替わります。



日の入り時刻

日にちを指定して日の出/日の入り時刻を調べる

1. D ボタンを約 1 秒間押し続けます。

「年」を設定できるようになります。



ロータリースイッチ

2. ロータリースイッチを回して「年」を設定します。
3. D ボタンを押します。

「月」を設定できるようになります。
4. ロータリースイッチを回して「月」を設定します。
5. D ボタンを押します。

「日」を設定できるようになります。

- ロータリースイッチを回して「日」を設定します。
- ロータリースイッチを押します。
設定した日にちの日の出と日の入り時刻が表示されます。

潮の干満/月齢

CASIO WATCHES で設定した都市の潮の干満や月齢を調べることができます。

重要

- 表示される結果はおおよその目安です。航海などには使用しないでください。
- 潮の干満と月齢を調べる場合は、CASIO WATCHES で調べる都市を設定してください。都市を設定していない状態でタイド/ムーンモードに切り替えると、[SET IN THE APP]が表示され、この機能を使用できません。

準備

タイド/ムーンモードにします。

🕒 **モードを切り替える**



参考

- 潮の干満や月齢は、タイド/ムーンモードに切り替えたときに設定されていた都市のサマータイムに基づいて表示されます。

現在の潮の干満と月齢を確認する

タイド/ムーンモードにすると、CASIO WATCHES で設定した都市の午前 6 時の潮の状態と月齢を表示します。

- ロータリースイッチを回すと、1 時間ごとの状態が表示されます。
- D ボタンを押すと、翌日の状態が表示されます。



- 満潮
- 指定した日時の潮の状態
- 指定した日時
- 都市名
- 指定した日の月齢
- 干潮

潮回り(3つのパターン)



日にちを指定して潮の干満と月齢を調べる

日にちを指定して、潮の干満や月齢を調べることができます。

- D ボタンを約 1 秒間押し続けます。
「年」を設定できるようになります。



- ロータリースイッチを回して「年」を設定します。
- D ボタンを押します。
「月」を設定できるようになります。
- ロータリースイッチを回して「月」を設定します。
- D ボタンを押します。
「日」を設定できるようになります。
- ロータリースイッチを回して「日」を設定します。
- ロータリースイッチを押します。
指定した日にちの午前 6 時の潮の干満と月齢が表示されます。

- ロータリースイッチを回すと、指定した日の 1 時間ごとの状態が表示されます。

満潮時刻を補正する

インターネットや新聞の情報に合わせて時計の満潮時刻を補正すると、より正確な潮の干満を表示できます。

- A ボタンを押します。
タイド/ムーンモードの設定画面が開きます。



- ロータリースイッチを回して、[HIGH TIDE]を選びます。
- ロータリースイッチを押します。

- ロータリースイッチを回して、今日の満潮時刻の「時」を設定します。
 - 設定を止める場合は、以下の操作をしてください。
 - ① C ボタンを押します。
 - ② ロータリースイッチを回して現在の設定を保存するかどうかを選びます。
[YES]: 現在の設定を保存する
[NO]: 現在の設定を保存しない
 - ③ ロータリースイッチを押します。
- D ボタンを押します。
- ロータリースイッチを回して、今日の満潮時刻の「分」を設定します。
- ロータリースイッチを押します。
- ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
タイド/ムーンモードの設定画面に戻ります。
- C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

月を見る場所を設定する

月は、北半球から見たときと南半球で見たときで、左右逆に見えます。月を見る場所を設定すると、時計の表示が実際の見え方と同じになります。

- A ボタンを押します。
タイド/ムーンモードの設定画面が開きます。



- ロータリースイッチを回して、[HEMISPHERE]にポインターを合わせます。
- ロータリースイッチを押します。
- ロータリースイッチを回して、場所を選びます。
[NORTHERN]: 北半球
[SOUTHERN]: 南半球
- ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
タイド/ムーンモードの設定画面に戻ります。
- C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

ストップウォッチ

1 秒単位で 999 時間 59 分 59 秒まで計測ができます。

通常の計測のほかに、スプリットタイムも計測できます。

準備:

ストップウォッチモードにします。

🔄 モードを切り替える



参考

- 計測範囲を超えた場合は、0に戻って計測が継続します。
- 計測を開始後は、他のモードに切り替えたり、計測範囲を超えても A ボタンでリセットするまで計測が継続します。
- スプリットタイム表示中に他のモードに切り替えると、スプリットが解除されて経過時間が計測されます。

計測する

以下の操作で計測します。

- ① スタート
- ↓
- ② ストップ
- ↓
- ③ 再スタート
- ↓
- ④ ストップ



- 計測をリセットするときは、A ボタンを押します。

スプリットを計測する

以下の操作で計測します。

- ① スタート
- ↓
- ② スプリット
- ↓
- ③ スプリット解除
- ↓
- ④ ストップ



- 計測をリセットするときは、A ボタンを押します。

タイマー

設定した時間をカウントダウンします。残り時間がゼロになると音でお知らせします。

- タイマーは 1 分単位で 24 時間まで設定できます。
- 以下のときは音が鳴りません。
- バッテリー表示が [] 以下のとき

準備

タイマーモードにします。

🔄 モードを切り替える



時間を設定する

- A ボタンを約 2 秒間押し続ける、または A ボタンを押してからロータリースイッチを押します。
タイマーの「時」を設定できるようになります。



- ロータリースイッチを回して、「時」の値を変更します。
 - 設定を止める場合は、以下の操作をしてください。
 - C ボタンを押します。
 - ロータリースイッチを回して現在の設定を保存するかどうかを選びます。
[YES]: 現在の設定を保存する
[NO]: 現在の設定を保存しない
 - ロータリースイッチを押します。
- D ボタンを押します。
タイマーの「分」を設定できるようになります。
- ロータリースイッチを回して、「分」の値を変更します。
- ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
タイマーモードの設定画面に戻ります。
- C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

タイマーを使う

- D ボタンを押して、タイマーを開始します。



残り時間がゼロになると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。

- カウントダウン中に D ボタンを押すと、タイマーを一時停止できます。一時停止中に A ボタンを押すと、タイマーをリセットできます。
- いずれかのボタンを押して、音を止めます。

参考

- ナビゲーション中は、タイマー音が乱れることがあります。

ワールドタイム

世界 39 都市と UTC (協定世界時) の時刻を知ることができます。



準備

ワールドタイムモードにします。

☞ [モードを切り替える](#)



参考

- ワールドタイム都市とサマータイムの設定は、CASIO WATCHES でも設定できます。

ワールドタイム都市を設定する

ワールドタイムを表示する都市を設定します。

- A ボタンを約 2 秒間押し続けます。
ワールドタイム都市の一覧が表示されます。



ロータリースイッチ

- ロータリースイッチを回して、設定したい都市にポインターを合わせます。
- ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
ワールドタイムモードの設定画面に戻ります。
- C ボタンを押して、設定画面を閉じます。
選んだ都市の日時が表示されます。



参考

- 手順 1 の代わりに、以下の操作でワールドタイム都市の一覧を表示することもできます。

- A ボタンを押してワールドタイムモードの設定画面を開きます。
- ロータリースイッチを回して、[WORLD TIME] にポインターを合わせます。
- ロータリースイッチを押します。

サマータイムを設定する

- A ボタンを押します。

ワールドタイムモードの設定画面が開きます。



ロータリースイッチ

- ロータリースイッチを回して、[DST] にポインターを合わせます。
- ロータリースイッチを押します。
- ロータリースイッチを回して、サマータイムの設定を選びます。
[AT (AUTO)]: スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
[STD]: 常にスタンダードタイムで表示します。
[DST]: 常にサマータイムで表示します。
- ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
ワールドタイムモードの設定画面に戻ります。
- C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

参考

- 各都市のサマータイムの初期設定 (工場出荷時の状態) は [AT (AUTO)] です。多くの場合、[AT (AUTO)] であれば、設定を変更する必要はありません。
- 都市に [UTC] を選んだ場合、サマータイムの設定を確認したり、切り替えることはできません。

ライト

ライトを点灯させることができます。また、時計の傾きによってライトを自動的に点灯させるオートライト機能を設定できます。

参考

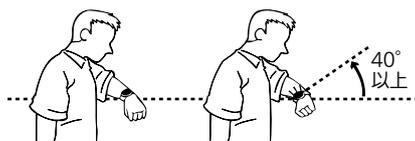
- 点灯中にアラームが鳴ると、消灯します。
- GPS 電波を受信して時刻合わせをしているときは、ライトは点灯しません。また、センサー計測中もタイミングにより点灯しません。

手動で点灯させる

すべてのモードで B ボタンを押すと、ライトが点灯します。

自動的に点灯させる

オートライト機能がオンのときは、時計を 40°以上傾けると、ライトが点灯します。



重要

- 以下の図のように、時計が水平状態から 15°以上傾いていると、点灯しにくくなります。



- 静電気や磁気の影響でオートライトが作動しないことがあります。その場合、もう一度時計を水平状態にしてから傾けてください。
- 時計を傾けたとき、内部から「カラカラ」と音がする場合があります。これは、オートライトスイッチの作動音で、故障ではありません。

参考

- 以下の状態のとき、オートライト機能は作動しません。
 - アラーム音やタイマー音などが鳴っているとき
 - GPS 電波を受信して、時刻を合わせているとき
- 方位、高度、気圧、温度を計測中は、タイミングによっては、遅れて点灯することがあります。

オートライト機能を設定する

1. 時刻モードにします。
 ◯モードを切り替える



2. A ボタンを押します。
時刻モードの設定画面が開きます。
3. ロータリースイッチを回して、[LIGHT] にポインターを合わせます。
4. ロータリースイッチを押します。
5. ロータリースイッチを回して、[AUTO LIGHT] にポインターを合わせます。
6. ロータリースイッチを押します。
7. ロータリースイッチを回して、[ON] (オン) または [OFF] (オフ) にポインターを合わせます。
 - オートライト機能がオンの場合、時刻モードの基本画面 (BASIC) のときに [LT] が表示されます。
8. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
時刻モードの設定画面に戻ります。
9. C ボタンを何回か押して、設定画面を閉じます。

点灯時間を変える

ライトの点灯時間は、1.5 秒と 3 秒のどちらかを選ぶことができます。

1. 時刻モードにします。
 ◯モードを切り替える



2. A ボタンを押します。
時刻モードの設定画面が開きます。
3. ロータリースイッチを回して、[LIGHT] にポインターを合わせます。
4. ロータリースイッチを押します。
5. ロータリースイッチを回して、[DURATION] にポインターを合わせます。
6. ロータリースイッチを押します。
7. ロータリースイッチを回して、点灯時間を選びます。
 - [1.5 SEC.] : 1.5 秒点灯します。
 - [3.0 SEC.] : 3 秒点灯します。
8. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
時刻モードの設定画面に戻ります。
9. C ボタンを何回か押して、設定画面を閉じます。

その他の設定

準備

時刻モードにします。

🕒 モードを切り替える



ホーム都市とサマータイムを設定する

旅行などで他の都市に移動した場合は、ホーム都市とサマータイムを変更するだけで、時計の時刻が移動先の時刻になります。

●ホーム都市を設定する

この時計を使用する都市を設定します。

1. A ボタンを押します。

時刻モードの設定画面が開きます。



2. ロータリースイッチを回して、[HOMECITY]にポインターを合わせます。
3. ロータリースイッチを押します。
4. ロータリースイッチを回して、ホーム都市にポインターを合わせます。
5. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
時刻モードの設定画面に戻ります。
6. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

●サマータイムを設定する

サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定することができます。

参考

- 各都市のサマータイムの初期設定(工場出荷時の状態)は「AT (AUTO)」です。多くの場合、「AT (AUTO)」であれば、設定を変更する必要はありません。
- 次の場合、GPS から位置情報を取得すると、自動的に「AT (AUTO)」に設定されます。
 - タイムゾーンが受信前と異なる
 - 受信前と同じタイムゾーンだが、サマータイムの規定(開始日時、終了日時)が異なる地域の位置情報を取得した

1. A ボタンを押します。



2. ロータリースイッチを回して、[DST]にポインターを合わせます。
3. ロータリースイッチを押します。
時刻モードの設定画面が開きます。
4. ロータリースイッチを回して、サマータイムの設定を選びます。
 - [AUTO]: スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
 - [STD]: 常にスタンダードタイムで表示します。
 - [DST]: 常にサマータイムで表示します。
5. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
時刻モードの設定画面に戻ります。
6. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

手動で時刻を合わせる

GPS 電波を受信できないとき、またはスマートフォンと通信できないときは、次の操作で時計の時刻と日付を合わせます。

1. A ボタンを押します。

時刻モードの設定画面が開きます。



2. ロータリースイッチを回して、[TIME&DATE]にポインターを合わせます。
3. ロータリースイッチを押します。
4. 以下の操作で、時刻と日付を設定します。
 - ロータリースイッチを回して、下線が付いている値を変更します。
 - D ボタンで設定する値を変更します。D ボタンを押すたびに、「時」→「分」→「年」→「月」→「日」の順番に移動します。

参考

- 手順 5 でロータリースイッチを押した後、秒が 00 から動き始めます。秒単位で時刻を合わせる場合は、GPS 電波の受信やスマートフォンとの通信による時刻合わせをおすすめします。
5. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
 6. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

時刻モードの表示方法を変更する

画面の表示を変更する

時刻モードにしたときに、現在時刻と一緒にもう一つの情報を表示できます。

BASIC: 時刻のみ (基本画面)



TIME+NAVIGATION: 時刻+ナビゲーション



TIME+BAROMETER: 時刻+気圧

この表示の時刻モードに切り替えてから 1 時間は、現在の気圧と過去 12 時間の気圧傾向グラフを表示します。それ以降は、過去 48 時間の気圧傾向グラフのみを表示します。

12時間まで



12時間以降



TIME+SUNRISE: 時刻+日の出/日の入り



TIME+WORLD TIME: 時刻+ワールドタイム



参考

- バッテリー表示が [] 以下になると、基本画面に戻ります。

1. A ボタンを押します。

時刻モードの設定画面が開きます。



2. ロータリースイッチを回して、[DISPLAY] にポインターを合わせます。
3. ロータリースイッチを押します。
4. ロータリースイッチを回して、[SCREEN] にポインターを合わせます。
5. ロータリースイッチを押します。
6. ロータリースイッチを回して、表示したい項目にポインターを合わせます。
7. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
時刻モードの設定画面に戻ります。
8. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

12 時間制/24 時間制を切り替える

時刻の表示方法を、12 時間制または 24 時間制に設定できます。

1. A ボタンを押します。

時刻モードの設定画面が開きます。



2. ロータリースイッチを回して、[DISPLAY] にポインターを合わせます。
 3. ロータリースイッチを押します。
 4. ロータリースイッチを回して、[12/24H] にポインターを合わせます。
 5. ロータリースイッチを押します。
 6. ロータリースイッチを回して、[12H] (12 時間制) または [24H] (24 時間制) を選びます。
 7. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
時刻モードの設定画面に戻ります。
 8. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。
- 12 時間制に設定した場合は、午後は [P] が表示されます。

アラームを使う

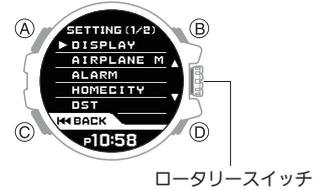
指定した時刻に音でお知らせします。アラームは 4 つ設定できます。

- スヌーズ機能をオンにすると、約 5 分ごとに 7 回、音が鳴ります。
 - 以下のときは音が鳴りません。
 - バッテリー表示が [] 以下のとき
 - 節電状態レベル 2 のとき
- 🔍 節電 (パワーセービング機能)

● アラームをセットする

1. A ボタンを押します。

時刻モードの設定画面が開きます。



2. ロータリースイッチを回して、[ALARM] にポインターを合わせます。
3. ロータリースイッチを押します。
4. ロータリースイッチを回して、設定するアラームにポインターを合わせます。
5. ロータリースイッチを押します。
6. ロータリースイッチを回して、アラームの「時」を設定します。
 - アラーム時刻の設定を止める場合は、以下の操作をしてください。
 - ① C ボタンを押します。
 - ② ロータリースイッチを回して現在の設定を保存するかどうかを選びます。
[YES]: 現在の設定を保存する
[NO]: 現在の設定を保存しない
 - ③ ロータリースイッチを押します。
7. D ボタンを押します。
8. ロータリースイッチを回して、アラームの「分」を設定します。
9. D ボタンを押します。
10. ロータリースイッチを回して、スヌーズ機能のオン/オフを設定します。
11. ロータリースイッチを押します。
時刻を設定したアラームがオンになります。
 - アラームがオンになると、設定時刻の右に [] が表示されます。スヌーズ機能がオンのときは、[SNZ] も表示されます。
12. C ボタンを何回か押して、設定画面を閉じます。

●アラームのオン/オフを切り替える

1. A ボタンを押します。
時刻モードの設定画面が開きます。



2. ロータリースイッチを回して、[ALARM]にポインターを合わせます。
3. ロータリースイッチを押します。
4. ロータリースイッチを回して、設定するアラームにポインターを合わせます。
5. D ボタンを押して、アラームのオン/オフを切り替えます。
アラームがオンになると、設定時刻の右に「■」が表示されます。スヌーズ機能がオンのときは、[SNZ]も表示されます。
6. C ボタンを何回か押して、設定画面を閉じます。

●アラームを止める

アラームの音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押します。

参考

- スヌーズ機能をオンにすると、約5分ごとに7回音が繰り返し鳴ります。アラームを中断したい場合は、スヌーズ機能がオンになっているアラームをオフに切り替えてください。
- ナビゲーション中は、アラーム音が乱れることがあります。

ボタンの操作音を設定する

ボタンを押したときに音が鳴る／鳴らないを設定できます。

1. A ボタンを押します。
時刻モードの設定画面が開きます。



2. ロータリースイッチを回して、[BEEP]にポインターを合わせます。
3. ロータリースイッチを押します。
4. ロータリースイッチを回して、[ON] (オン) または [OFF] (オフ) にポインターを合わせます。
5. ロータリースイッチを押して、設定を終了します。
時刻モードの設定画面に戻ります。
●操作音をオフにすると、時刻モードのときに「■」が表示されます。
6. C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

都市一覧

都市		UTCからの時差
UTC	協定世界時	0
LONDON	ロンドン	0
PARIS	パリ	+1
ATHENS	アテネ	+2
JEDDAH	ジェッダ	+3
TEHRAN	テヘラン	+3.5
DUBAI	ドバイ	+4
KABUL	カブール	+4.5
KARACHI	カラチ	+5
DELHI	デリー	+5.5
KATHMANDU	カトマンズ	+5.75
DHAKA	ダッカ	+6
YANGON	ヤンゴン	+6.5
BANGKOK	バンコク	+7
HONG KONG	香港	+8
PYONGYANG	平壤	+8.5
EUCLA	ユークラ	+8.75
TOKYO	東京	+9
ADELAIDE	アデレード	+9.5
SYDNEY	シドニー	+10
LORD HOWE ISLAND	ロードハウ島	+10.5
NOUMEA	ヌーメア	+11
WELLINGTON	ウェリントン	+12
CHATHAM ISLANDS	チャタム島	+12.75
NUKU' ALOFA	ヌクアロファ	+13
KIRITIMATI	キリスマス島	+14
BAKER ISLAND	ベーカー島	-12
PAGO PAGO	パゴパゴ	-11
HONOLULU	ホノルル	-10
MARQUESAS ISLANDS	マルキーズ諸島	-9.5
ANCHORAGE	アンカレジ	-9
LOS ANGELES	ロサンゼルス	-8
DENVER	デンバー	-7
CHICAGO	シカゴ	-6
NEW YORK	ニューヨーク	-5
HALIFAX	ハリファックス	-4
ST. JOHN'S	セントジョンズ	-3.5
RIO DE JANEIRO	リオデジャネイロ	-3
FERNANO DE NORONHA	フェルナンド・デ・ノローニャ	-2
PRAIA	プライア	-1

- この表は2017年7月現在のものです。
- タイムゾーンの変更により、UTCからの時差は上表と異なる可能性があります。その場合、スマートフォンと接続すると、時計のタイムゾーン情報が最新の状態で更新されます。

サマータイム期間一覧

サマータイムを導入している都市でサマータイムの設定を「AT (AUTO)」にすると、以下のタイミングで時刻が切り替わります。

参考

- 現在地のサマータイムの開始、終了タイミングが変更になるなどで下表と異なることがあります。その場合は、スマートフォンと接続すると、ホーム都市とワールドタイム都市の新しいサマータイムの情報が時計に送られます。スマートフォンと接続しない場合は、手動で「STD」または「DST」に切り替えてください。

都市名	サマータイム開始	サマータイム終了
ロンドン	3月最終日曜 1時	10月最終日曜 2時
パリ	3月最終日曜 2時	10月最終日曜 3時
アテネ	3月最終日曜 3時	10月最終日曜 4時
テヘラン	3月 22日または 3月 21日の 0時	9月 22日または 9月 21日の 0時
シドニー、 アデレード	10月第 1日曜 2時	4月第 1日曜 3時
ロードハウ 島	10月第 1日曜 2時	4月第 1日曜 2時
ウェリントン	9月最終日曜 2時	4月第 1日曜 3時
チャタム島	9月最終日曜 2時 45分	4月第 1日曜 3時 45分
ヌクアロ ファ	11月第 1日曜 2時	1月第 3日曜 3時
アンカレジ	3月第 2日曜 2時	11月第 1日曜 2時
ロサンゼルス	3月第 2日曜 2時	11月第 1日曜 2時
デンバー	3月第 2日曜 2時	11月第 1日曜 2時
シカゴ	3月第 2日曜 2時	11月第 1日曜 2時
ニューヨーク	3月第 2日曜 2時	11月第 1日曜 2時
ハリファックス	3月第 2日曜 2時	11月第 1日曜 2時
セントジョンズ	3月第 2日曜 2時	11月第 1日曜 2時
リオデジャ ネイロ	10月第 3日曜 0時	2月第 3日曜 0時 または 2月第 4日曜 0時

- この表は 2017 年 7 月現在のものです。

対応するスマートフォン

本機と通信できるスマートフォンについてはカシオホームページでご確認いただけます。

https://world.casio.com/os_mobile/wat/

仕様一覧

精度:

電波受信、またはスマートフォンとの通信による時刻合わせができない場合は、平均月差 ±15 秒

基本機能:

時・分・秒・月・日・曜日、午前/午後(P)/24 時間制表示、フルオートカレンダー(2000~2099 年)

モバイルリンク:

自動時刻修正機能
サマータイム自動切り替え機能
携帯電話探索機能
通信仕様
Bluetooth®
周波数帯域 2400MHz~2480MHz
最大送信電力 0dBm(1mW)
通信距離 ~2m(環境により変化)

GPS ナビゲーション:

行動ログ取得
計測間隔
間欠(1分毎/連続 約 24 時間)
連続(数秒毎/連続 約 4~5 時間)
行動時間計測機能
ログ使用状況表示機能
ゴール、スタート、経由地までの直線距離表示機能*
ゴール、スタート、経由地までの方向表示機能*
ゴール設定機能(ポイントメモリーからの呼び出しによる)
ルートナビゲーション*
バックトラック機能
ポイントメモリー機能(時刻、年月日、緯度、経度、高度、気圧、温度)
ポイントメモリー・アイコン設定機能
軌跡表示(広域/詳細)切り替え機能
* 経由地は、アプリケーション側で設定されていたときのみ、機能有効

方位計測:

計測範囲 0°~359°
方位補正機能(3点補正、磁気偏角補正)
60秒連続計測機能
ベアリングメモリー機能

気圧計測:

計測範囲 260hPa~1,100hPa
表示範囲 260hPa~1,100hPa
計測単位 1hPa
常時気圧計測(2時間毎)
気圧補正機能
気圧傾向グラフ
気圧傾向インフォメーション機能

温度計測:

計測範囲 -10.0°C~60.0°C
表示範囲 -10.0°C~60.0°C
計測単位 0.1°C
温度補正機能

高度計測(相対高度計):

計測範囲 -700m~10,000m
計測単位 1m
表示範囲 -10,000m~10,000m
計測間隔 2分/5秒
高度補正機能(基準高度設定機能)
高度差計測機能 -3,000m~+3,000m

センサー精度:

方位
計測精度 ±10°以内
精度保証温度範囲 -10°C~60°C
温度
計測精度 ±2°C以内
精度保証温度範囲 -10°C~60°C
圧力
計測精度 ±3hPa 以内(高度計測精度 ±75m 以内)
精度保証温度範囲 -10°C~40°C

日の出日の入り:

日の出/日の入り時刻表示、日付セレクト機能

タイド/ムーン*:

潮の干満(タイドグラフ)
月の形(ムーンフェイズ)、月齢
日付セレクト機能
時刻選択機能(タイドグラフのみ)
* アプリケーションでの設定が必要

ストップウォッチ:

計測単位 1秒
計測範囲 999時間 59分 59秒(1,000時間)
計測精度 ±0.0006%
スプリット機能

タイマー:

セット単位 1分
計測単位 1秒
計測範囲 24時間
タイムアップ時 10秒間の電子音で報知

ワールドタイム：

UTC + 39 都市(39 タイムゾーン) *の時刻を表示、サマータイム自動設定機能

* スマートフォンとの接続で更新される場合あり

その他：

パワーセービング機能、LED ライト、ライト点灯時間切り替え、オートライト、充電量の表示、操作音の設定/解除、機内モード設定、アラーム(スヌーズ設定可、10 秒間の電子音で報知)4 本

使用電池：

二次電池

持続時間：

GPS を使用した場合

間欠受信 最大約 33 時間

連続受信 最大約 20 時間

* GPS 以外の機能は、さらに約 2 か月使用可能

GPS を使用しない場合

約 1.4 年

充電器：

使用周囲温度 5℃～35℃

消費電力 DC 5.0V 約 0.9W

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

モバイルリンク機能に関する注意事項

● 法律上のご注意

- 本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは、カシオホームページをご覧ください。
<https://world.casio.com/ce/BLE/>
- 各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

● 安全上のご注意

⚠ 警告 無線について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

● モバイルリンク機能使用上のご注意

- スマートフォンは、本機の近くに置いてご使用ください。2m 以内が目安です。ただし、周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなる場合があります。
- 本機は、他の機器(電気製品、AV 機器、OA 機器など)の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。
- 本機の Bluetooth は無線 LAN 対応機器と同一の周波数帯(2.4GHz)を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線 LAN 対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

- 本機からの電波を止める必要があるときは通信モードのときや GPS ナビゲーション機能を使用中は、本機は電波を発信しています。また、1 日 4 回時刻合わせのため、自動で時計とスマートフォンが接続します。

病院内や航空機内など、電波の使用を禁止された区域でお使いになるときは、機内モードに設定してください。

📍 病院内、飛行機内で使うとき

無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けています。無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けています。以下の事項は法律で罰せられることがあります。
 - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート(マンションなど)や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 腕時計とスマートフォン等が別々の部屋にある場合(障害物がある場合)
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることに使用しないでください。

<以下、ARIB(一般社団法人 電波産業会)に準ずる>

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH、FH-OFDM 複合方式以外の"その他の方式"です。また、想定される与干渉距離は約 10m です。



- 本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問合せ先」(「取扱説明書」を参照)にお問い合わせください。

商標、登録商標について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GALAXY は Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- Android および Google Play™ は、Google LLC の商標または登録商標です。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

困ったときは

充電器による充電

Q1 充電器で時計を充電できない

時計を充電器にしっかりと取り付けていますか？

充電器と時計の間に隙間があると、充電されることがあります。
 ↓ **充電時のご注意**

時計を充電器に取り付けたまま放置していますか？

時計の充電が完了すると、充電が停止します。再度充電したい場合は、充電器から時計をいったん取り外してください。

それでも充電できない

USB 機器などの電源が正常に機能しているか確認してください。

Q2 充電が途中で停止した

充電中に一時的な異常が発生した場合、充電が停止することがあります。充電器から時計と USB ケーブルをいったん取り外して、異常がないことを確認してから、再度充電してください。それでも充電できない場合は、お買い上げ店にご相談ください。

電波受信(GPS 電波)

Q1 GPS 電波を受信できない

時計は充電されていますか？

バッテリー表示が以下のときは、GPS 電波を受信できません。時計を充電してください。
 ↓ **充電する**

時計は時刻モードになっていますか？

機内モードやその他のモードのときは GPS 電波を受信できません。時刻モードに戻してください。
 ↓ **モードを切り替える**

それでも GPS 電波を受信できない

時計が以下の状態のときは、GPS 電波を受信できません。

- 節電状態のとき
- タイマー計測中

Q2 自動で時刻情報が受信されない

スマートフォンとの通信が成立している場合は、GPS 電波を自動で受信しません。GPS 電波の時刻情報を受信したい場合は、手動で受信してください。

- **手動で時刻情報を受信する**
- **スマートフォンに接続して時刻を合わせる**

Q3 受信中の状態から変化がない

うるう秒を受信している可能性があります。
 ○ **うるう秒の受信について**

Q4 GPS 電波の受信が成功しない

受信に適した場所ですか？

周辺の環境を確認し、GPS 電波を受信しやすい所で受信してください。

↓ **受信に適した場所**

液晶画面を真上や空の方向に向けていますか？

受信中はできるだけ時計を動かささないでください。自動的に受信する場合は、衣服の袖が時計の液晶画面にかからないようご注意ください。

受信中にアラームが鳴っていませんか？

受信中にアラームが鳴ると受信が中止します。アラームをオフにしてください。
 ○ **アラームのオン/オフを切り替える**

Q5 受信に成功したはずなのに、時刻や日付が合わない

ホーム都市(タイムゾーン)は正しく設定されていますか？

ホーム都市(タイムゾーン)を正しく設定してください。
 ○ **手動で位置情報を取得する**
 ↓ ○ **ホーム都市を設定する**

それでも日時が合わない

時刻や日付を手動で合わせてください。

ペアリングできない

Q1 時計とスマートフォンが一度も接続(ペアリング)できない

機種は対応していますか？

お使いのスマートフォンと OS が対応機種となっているかご確認ください。対応機種についてはカシオホームページをご覧ください。

↓ https://world.casio.com/os_mobile/wat/

CASIO WATCHES をインストールしましたか？

時計と接続するためには、CASIO WATCHES をスマートフォンにインストールする必要があります。
 ○ **① アプリケーションをインストールする**

Bluetooth は設定しましたか？

スマートフォンの Bluetooth を設定してください。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

iPhone をお使いの方

- 「設定」→「Bluetooth」→ オン
- 「設定」→「プライバシー」→「Bluetooth 共有」→「CASIO WATCHES」→ オン

Android をお使いの方

- Bluetooth をオンにしてください。

上記以外

一部のスマートフォンで CASIO WATCHES を使用する場合、スマートフォンで BT Smart の設定を無効にする必要があります。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ホーム画面で「メニュー」→「本体設定」→「Bluetooth」→「メニュー」→「BT Smart 設定」→「無効にする」

再接続できない

Q1 時計とスマートフォンが再接続できない

CASIO WATCHES は起動していますか？

CASIO WATCHES が終了していると、時計とスマートフォンの再接続ができません。スマートフォンのホーム画面でCASIO WATCHES のアイコンをタップした後、C ボタンを約 2.5 秒間押し続けて時計を通信モードにしてください。

🔗 [各モードの概要](#)



スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、CASIO WATCHES のアイコンをタップしてから、C ボタンを約 2.5 秒間押し続けて時計を通信モードにしてください。

🔗 [各モードの概要](#)



Q2 スマートフォンの機内モードを有効にしたら接続できなくなった

スマートフォンの機内モードを有効にすると、時計と接続できません。スマートフォンの機内モードを解除し、ホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、C ボタンを約 2.5 秒間押し続けて時計を通信モードにしてください。

🔗 [各モードの概要](#)



Q3 時計の機内モードを有効にしたら接続できなくなった

時計の機内モードを解除してから、C ボタンを約 2.5 秒間押し続けて時計を通信モードにしてください。

🔗 [各モードの概要](#)



Q4 スマートフォンの Bluetooth をオンからオフにしたら接続できなくなった

スマートフォンの Bluetooth をオフからオンにし、ホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、C ボタンを約 2.5 秒間押し続けて時計を通信モードにしてください。

🔗 [各モードの概要](#)



Q5 スマートフォンの電源を切ったら接続できなくなった

スマートフォンの電源を入れ、CASIO WATCHES のアイコンをタップしてから、C ボタンを約 2.5 秒間押し続けて時計を通信モードにしてください。

🔗 [各モードの概要](#)



どうしても接続できない場合

Q1 どうしてもスマートフォンと時計が接続できない

スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、CASIO WATCHES のアイコンをタップしてから、C ボタンを約 2.5 秒間押し続けて時計を通信モードにしてください。

🔗 [各モードの概要](#)



ペアリングをやり直しましたか？

ペアリングを解除した後、ペアリングをやり直してください。

🔗 [ペアリングを解除する](#)

それでも接続できない場合

以下の手順で時計からペアリング情報を削除した後、再度ペアリングをしてください。

- ① C ボタンを約 1 秒間押し続けて、時刻モードにします。
- ② A ボタンを押して、設定画面を開きます。
- ③ ロータリースイッチを回して、[UNPAIRING] にポインターを合わせます。
- ④ ロータリースイッチを押します。
- ⑤ ロータリースイッチを回して、[YES] にポインターを合わせます。
- ⑥ ロータリースイッチを押して、ペアリング情報を削除します。
- ⑦ C ボタンを押して、設定画面を閉じます。

スマートフォンを機種変更した場合

Q1 今使っている時計を別のスマートフォンと接続したい

お使いになっている時計と接続したいスマートフォンをペアリングしてください。

🔗 [スマートフォンを買い替えたとき](#)

Bluetooth 接続による自動時刻修正機能(Time Adjustment)

Q1 どのタイミングで時刻を合わせるのですか？

時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。なお、1 日以上スマートフォンとの接続による自動時刻合わせができなかった場合は、GPS 電波を自動で受信します。

Q2 自動修正の時刻になっても時刻が合わない

時刻合わせのタイミングが遅れていますか？

手動で時刻を合わせると、それから 24 時間は自動時刻修正が起動しません。これらの操作の後、24 時間経過すると自動時刻修正が機能するようになります。

タイマーで計測中ですか？

タイマーで計測中は、時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせが始まりません。タイマーでの計測を終了してください。

☞ **タイマーを使う**

時計が機内モードになっていませんか？

時計が機内モードになっていると、時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせを開始しません。時計の機内モードを解除してください。

☞ **病院内、飛行機内で使うとき**

Q3 「すぐに時刻を合わせたい」とおり操作しても、時計がスマートフォンの時刻にならない

タイマーで計測中は、時刻合わせが始まりません。タイマーの計測を終了してから再度操作してください。

Q4 正しい時刻が表示されない

スマートフォンが圏外の状態になっているなどでネットワークに接続していない場合は、スマートフォンの時刻が正しくない可能性があります。その場合は、スマートフォンをネットワークに接続して時刻を合わせてください。

ナビゲーション

Q1 GPS ナビゲーションモードが起動しない

充電器で時計を充電中ですか？

充電器で充電中は、GPS ナビゲーションモードを使えません。時計を充電器から外してください。

電池は充分に残っていますか？

GPS 機能は、電池残量が  以上あるときに使うことができます。電池が不足している場合は、時計を充電してください。

☞ **充電する**

高度計測

Q1 同じ場所なのに計測値が異なる
標高や海拔高度と計測値に差がある
正確な高度計測ができない

時計に内蔵されている圧力センサーで計測した気圧の変化量を、高度に換算しています。そのため、同じ場所で計測しても、気圧が変化すると表示される値が変わります。また、標高や海拔高度とは異なる値が表示されることがあります。登山などで使用する場合は、実際に使用する場所の高度(標高)に、こまめに補正してから計測されることをおすすめします。

☞ **高度計測値を補正する**

Q2 高度差を計測したら、[-----]が表示された

高度差の計測範囲内(±3,000m)を越えると、[-----]が表示されます。[ERROR]が表示されたときは、センサーの異常の可能性があります。

☞ **基準点を設定して高度差を計測する**

Q3 計測中に [ERROR] が表示された

センサーの異常の可能性があります。再度計測してください。何回か計測しても [ERROR] が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」にご相談ください。

方位計測

Q1 画面に  が表示されている

異常磁気を検出しました。強い磁力がある場所から離れて、再計測してください。

☞ **方位計測のご注意**

- 再計測しても  が表示される場合は、時計本体が磁気を帯びている可能性があります。強い磁力がある場所から離れて、方位を補正した後、計測してください。

☞ **方位を補正する**

Q2 計測中に [ERROR] が表示された

センサー異常時、または強い磁力の近くで計測したときに表示されます。強い磁力がある場所から離れて、再度計測してください。何回か計測しても [ERROR] が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」にご相談ください。

☞ **方位計測のご注意**

Q3 方位を補正したら、[ERROR] が表示された

[---] が表示された後に [ERROR] が表示された場合、センサーの異常が考えられます。

- [ERROR] 表示が約 1 秒後に消えた場合、もう一度補正してください。
- 何回か操作しても、[ERROR] が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」にご相談ください。

Q4 予備のコンパス(方位磁針)と比較して、計測した方位が異なる

強い磁力がある場所から離れて、方位を補正した後、計測してください。

☞ **方位を補正する**

☞ **方位計測のご注意**

Q5 同じ場所で計測結果が異なる
室内で方位を計測できない

強い磁力がある場所から離れて、計測してください。

☞ **方位計測のご注意**

気圧計測

Q1 計測中に[ERROR]が表示された

センサーの異常の可能性があります。再度計測してください。何回か計測しても[ERROR]が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」にご相談ください。

温度計測

Q1 計測中に[ERROR]が表示された

センサーの異常の可能性があります。再度計測してください。何回か計測しても[ERROR]が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」にご相談ください。

アラーム

Q1 アラームが鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで充電してください。

↓ [充電する](#)

アラームは鳴る設定ですか？

アラームの設定をオンにしてください。

↓ [アラームのオン/オフを切り替える](#)